

# KENWOOD

DVDレシーバー

## VDR-55

---

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation



# Contents

この取扱説明書の読みかたや、全般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
メディアの取り扱い	11

ここを読めば、ひととおり操作できます。

<b>Basic Operation</b>	<b>12</b>
共通操作	12
DVD や VCD(ビデオ CD)、ビデオ (MPEG) ファイルを観る	14
CD やオーディオファイルを聴く	16
ピクチャ (JPEG) ファイルを観る	18
ラジオを聴く	19

各ソースのいろいろなプレイ方法が書いてあります。ちょっと慣れたら読んでください。

## DVD/VCD/Video file watching 20

コマ送り	20
リピートプレイ	20
音声切り替え (VCD のみ)	21
音声言語切り替え (DVD のみ)	21
字幕言語切り替え (DVD のみ)	21
映像アングル切り替え (DVD のみ)	21
ズーム	22
DVD メニュー (DVD のみ)	22
PBC の設定 (VCD のみ)	23

## DVD setup 24

モニター表示の設定	24
オーディオの設定	25
CD プレーヤーの設定	26
DVD プレーヤーの設定	26
言語設定	28
視聴制限設定 / 変更	29

## Music Disc & Audio file Listening 30

ディスク / フォルダサーチ	30
リピートプレイ	30
スキャンプレイ	30
ランダムプレイ	31
マガジンランダムプレイ	31
タイトル / テキストスクロール	31

## Select Mode 32

セレクトモード	32
ファイルセレクト	32
フォルダセレクト1	33
フォルダセレクト2	33

## Picture file watching 34

リピートプレイ	34
スキャンプレイ	34
ランダムプレイ	35
表示を停止する	35
表示の回転 / 反転	35

## Radio Listening 36

オートメモリー	36
マニュアルメモリー	36
チューニングモード	37
モノラルモード (FM 放送受信時のみ)	37

## TV Control 52

チャンネル選択	52
バンド / ビデオ切り替え	52
マニュアルメモリー	52
プリセットチューニング	53
音声多重切り替え	53

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてあります。

## Audio Control 38

オーディオコントロールの詳細設定	38
オーディオセットアップ	39
イコライザーカーブの呼び出し	40
サブウーファー出力コントロール	40

## Display Control 41

ディスプレイ選択	41
モニターへの情報表示とファイル選択	42
操作パネルの取り外し	43
操作パネルの取り付け	43

本書の読みかた  
安全上のご注意  
メディアの取り扱い

Basic Operation

DVD/VCD/Video file watching

DVD setup

Music Disc & Audio file Listening

Select Mode

Picture file watching

Radio Listening

Audio Control

Display Control

Menu

TV Control

Remote Controller

Help?

DVD 言語コード  
取り付け時のご注意  
接続  
取り付け

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてあります。

<b>Menu</b>	<b>44</b>
メニュー設定	44
セキュリティコードの設定	46
セキュリティコードのクリア	46
セキュリティコードの入力	47
時刻合わせ	48
AUX ネームセレクト	48
LX アンブコントロール	49
デモンストレーション設定	50
オーディオプリセット	50
オーディオプリセットの呼び出し	51

リモコンで本機を操作する方法が書いてあります。

<b>Remote Controller</b>	<b>54</b>
電池の入れかた	54
リモコンモードスイッチの切り替えかた	54
共通操作	55
DVD/VCD/CD/ オーディオファイル	56
ラジオ	57
TV	57

トラブルの解決方法などが書いてあります。思いどおりに動かないときに読んでください。

<b>Help? Play file</b>	<b>58</b>
オーディオファイル	58
ビデオファイル	60
ピクチャファイル	60
<b>Help? Troubleshooting</b>	<b>61</b>
共通	61
ディスプレイ	62
オーディオファイル	63
Menu	64
<b>Help? Term</b>	<b>65</b>
共通	65
オーディオコントロール	65
Menu	66
<b>Help? Error</b>	<b>69</b>

<b>DVD 言語コード</b>	<b>71</b>
------------------	-----------

<b>取り付け時のご注意</b>	<b>72</b>
<b>接続</b>	<b>74</b>
<b>取り付け</b>	<b>76</b>

<b>保証とアフターサービス</b>	<b>77</b>
<b>仕様一覧</b>	<b>78</b>

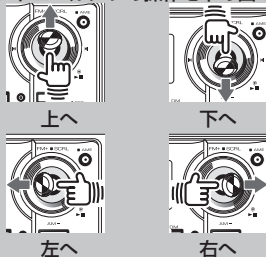
# 本書の読みかた

この説明書では、イラストを使って操作を説明します。

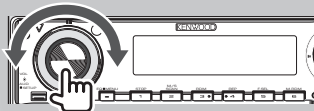
取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。  
このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

## コントロールノブを動かす

コントロールノブの操作を下の図で表します。



また、ボリュームを回す操作は下の図で表します。



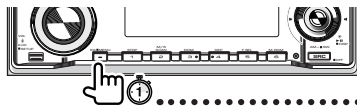
▼：次の段に続きます。  
●：ここで終わります。

## チューニングモード



チューニングモードを設定します。

### 1 メニューモードにします



MENU

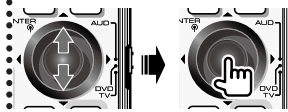
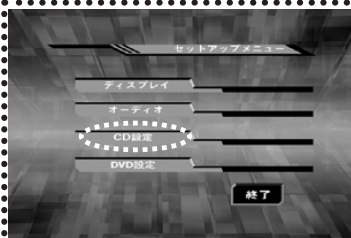
### 2 チューニングモードの項目を選択します



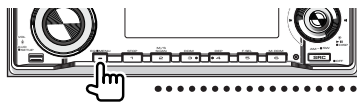
チューニングモードには3種類あります。

表示	設定内容
AUTO1	受信状態の良い放送局を受信します。(オート1)
AUTO2	メモリーされている放送局を受信します。(オート2)
MANUAL	受信する周波数を1ステップずつアップ/ダウンします。(マニュアル)

### 3 チューニングモードを選びます




### 4 メニューモードを終了します




上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

## リモコンの操作

機能によっては、リモコンでしかできない場合があります。この場合は、マークを表示して、リモコンによる操作のしかたを説明してあります。

下の文字はリモコンモードスイッチの設定です。

## 1秒以上押す

で示したボタンまたはノブを1秒（または2秒/3秒）以上押す。

動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。

左記では1秒間押すことを示しています。押す秒数は時計の中の表示を目安にしてください。

## ディスプレイ表示

この表示になるまで左の操作を行います。

## 表示の切り替わり

操作するたびに、ここに示した順番で表示が切り替わります。

## その他のマーク



ケガなどを防ぐための大切な注意事項が書かれています。




特記事項や補足説明、制限事項や参照ページなどが書かれています。



その項目での全般的な注意事項や参照ページなどが書かれています。

## 画面項目を選択する


画面上の項目を選んで実行します。

で囲まれている画面の項目を、リモコンのカーソルキーを押して選択して、ENTERキーを押します。

"DTS", and "DTS 2.0 + Digital Out" are registered trademarks of Digital Theater Systems, Inc.

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。  
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

 is a trademark of DVD Format/Logo Licensing Corporation registered in the U.S., Japan and other countries.

## 短く押す

で示したボタンを押す。

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的財産権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

# 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

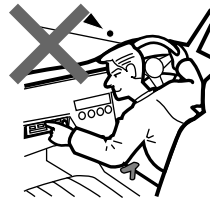
## 警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入など）



実施

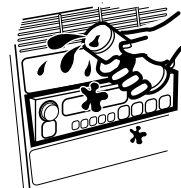
運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



**実施**

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

**禁止**

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

**禁止**

本製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

**⚠ 注意****禁止**

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。

**禁止**

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

**禁止**

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

**禁止**

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

**実施**

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のためくお買い上げの販売店 > にご依頼ください。

## 本機に接続できるシステムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャーが接続できます。接続できる機種はカタログをご覧ください。

1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー/CDプレーヤー、および他社製のディスクチェンジャーは接続できません。接続すると、破損や故障の原因となります。

"O-N"スイッチの付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは"N"側に設定してください。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

別売品のチェンジャースイッチングユニット"KCA-S220A"を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続できます。接続などの詳しい説明は「接続」(p74)および、KCA-S220Aの取扱説明書をご覧ください。

## 使用できるリモコンについて

本機で使用できるリモコンについては、カタログをご覧ください。購入店にお問い合わせてください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

## 操作パネルの開閉について

操作パネルを開いたときにシフトレバーなどと干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。

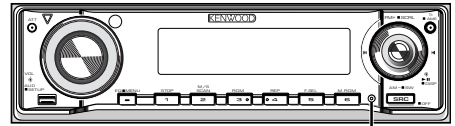
開いている操作パネルに無理な力をかけないでください。

操作パネルを開いたまま長時間使用しないでください。

操作パネルは必ず閉めて使用してください。

## 異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help? Troubleshooting」(p61) および「Help? Error」(p69)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- ディスクが取り出せない。
- ディスクを正しく入れ直してもインジケーターの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに"AUX EXT"と表示される。
- KCA-S220A、CA-C1AX/CA-C2AXが接続されていないときに"AUX EXT"と表示される。

## オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

## お手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

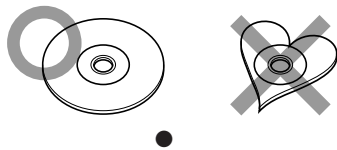


## レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

## 使用できないディスク

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。



● マークの付いていないCDは使用しないでください。

前記マークの付いていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

● 記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

● ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-RやCD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

● レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。

● インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/RWやDVD±R/RWは使用しないでください。使用すると、誤動作をすることがあります。

## 使用期間制限のあるディスクについて

使用期間期限のあるディスクを本機に挿入したままにしないでください。使用期限の切れたディスクを本機に挿入すると、取り出せない場合があります。

## ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	備考
DVD	DVDビデオ	○	
	DVDオーディオ	×	
	DVD-R	○	MP3/WMA/JPEG/MPEG再生
	DVD-RW	○	VRモード/マルチボーダー /マルチセッション /CPRM非対応
	DVD+R	○	(オーサリング状態により再生不可)
	DVD+RW	○	8cmディスク対応
	DVD-R DL(2層)	×	
	DVD+R DL(2層)	×	
	DVD-RAM	×	
	CD	音楽CD	○
CD-ROM		○	MP3/WMA/JPEG再生
CD-R		○	生
CD-RW		○	マルチセッション対応 パケットライト非対応
DTS-CD		○	
ビデオCD(VCD)		○	
スーパービデオCD		×	
フォトCD		×	
CD-EXTRA		△	音楽CDセッションのみ再生可能
HDCD		△	通常の音楽CDの音質
その他	CCCD	×	
	デュアルディスク	×	
	スーパーオーディオCD	△	CD層のみ再生可能

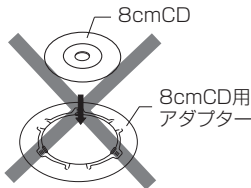
○：再生可能  
△：一部再生可能  
×：再生不可

## CD 用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど)は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



## 温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。

保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

## 結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

## リージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号(国ごとに割り当てられた番号)は「2」(または2を含むもの)と「ALL」です。

DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

## DVD ディスクのマーク

記号	内容
	リージョン番号を表します。このマークが付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。
	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル(角度)で見ることができます。
	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ(4:3)で見た場合、ワイド映像(16:9)は上下に黒帯の入る(レターボックス)映像となります。

## 操作規制マークについて

DVDは、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは下記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。



## “DualDisc” のご使用について

“DualDisc” を本機で再生すると、ディスクの挿入時やイジェクト時に再生していない面に傷が付くことがあります。また、音楽CD面はCDの規定に準拠していないため、再生ができないことがあります。

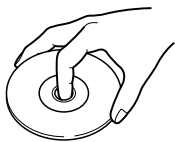
(“DualDisc” とは、片面にDVD規格に準拠した信号が記録され、もう片面に音楽CDの信号が記録されているディスクです)

# メディアの取り扱い

## ディスクの取り扱いについて

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です)

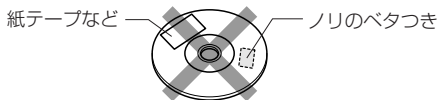


CD-R/RWやDVD±R/RWは通常の音楽CDより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。

詳細な注意事項がCD-R/RWおよびDVD±R/RWのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。



## ディスクの保存

直射日光があたる場所(シートやダッシュボードの上)など、温度が高い場所には置かないでください。

特にCD-R/RWやDVD±R/RWは通常の音楽CDに比べ、高温、多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

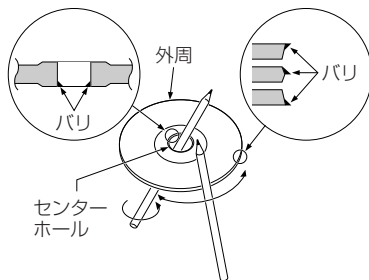
長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

## 新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。

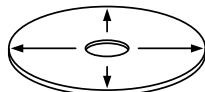
"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



## ディスクのお手入れ

ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

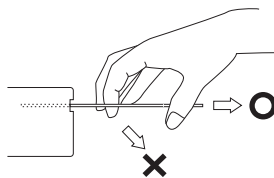
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



## ディスクの取り出しかた

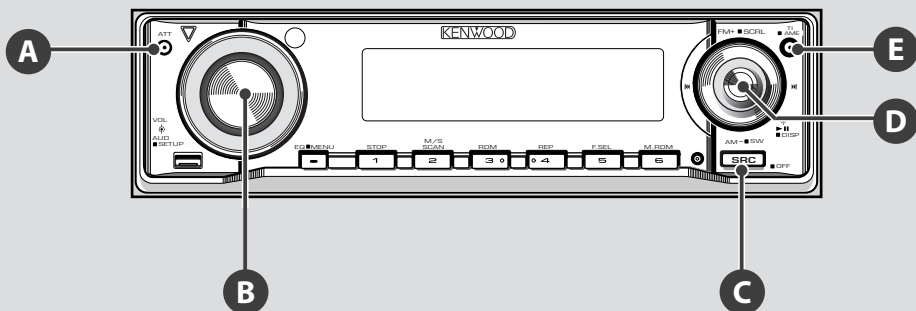
本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



# Basic Operation

## 共通操作



**C**

### 電源をオン/オフします

ボタンを押すと、電源がオンになります。  
1秒以上押し続けると、電源がオフになります。

**B**

### 音量を調整します

小さく 大きく



**E**

### 交通情報を聴きます

ボタンを押すと、交通情報を受信します。  
もう一度押すと、元のソースに戻ります。



- コントロールノブ **A** を左右に動かすと、交通情報の周波数 (522kHz/1620kHz/1629kHz) を切り替えることができます。
- 交通情報の受信中にボリュームノブ **B** で音量を調整すると、交通情報受信時の音量が記憶されます。

**A**

### 音量を素早く下げます

ボタンを押すと、音量が小さくなります (アッテネーター)。  
もう一度押すと、元の音量に戻ります。



- アッテネーターの動作中には **ATT** インジケータが点滅します。

### デモンストレーションの解除について

- 使用される前にデモモードを解除する必要があります。詳しくは「デモンストレーション設定」(p50) をご覧ください。

### 時計の調整について

- 時計の時刻合わせはメニューで行います。詳しくは「メニュー設定」(p44, p48) をご覧ください。



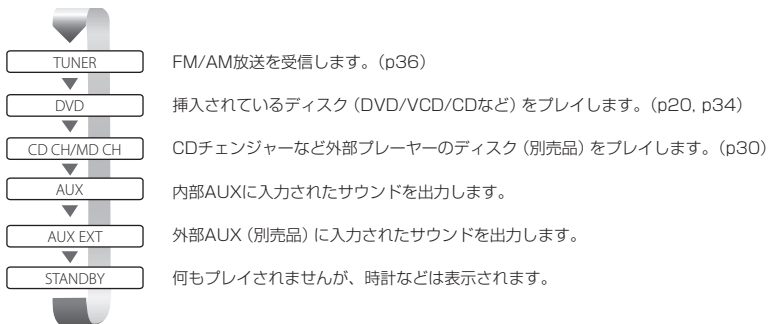
注意

安全のために、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

C

## ソースを切り替えます

ボタンを押すたびに、プレイ可能なソースが次の順に切り替わります。



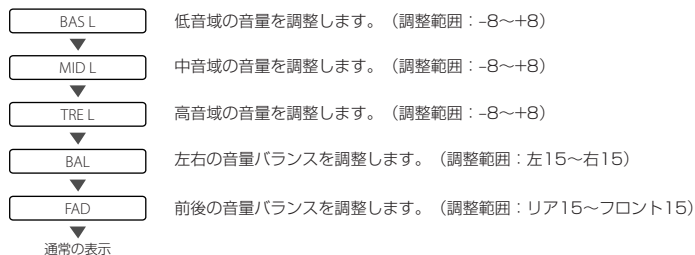
- CD/MDチェンジャーが接続されていないときは、チェンジャーソースには切り替わりません。
- ディスクを挿入すると、挿入したメディアがプレイされます。
- オーディオファイルやビデオファイル、ピクチャファイルもDVDソースでプレイできます。これらのメディアの種類、フォーマット、書き込み方法などの詳細については、「Help? Play file」(p58)をご覧ください。
- AUX表示やKCA-S220Aを使用したAUX EXT表示は「AUXネームセレクト」(p48)で替えることができます。

B

## 音質などを調整します

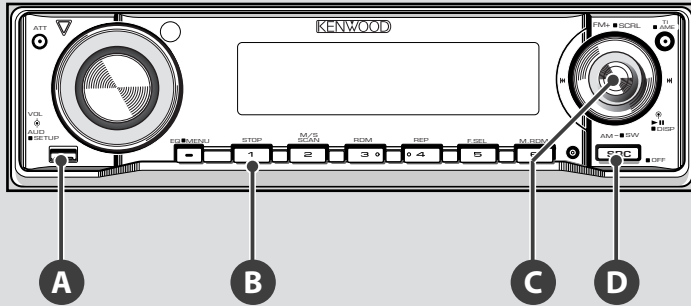
ノブを押して調整項目を選択し、次にノブを左右に回して調整します。

調整項目は次の順に切り替わります。



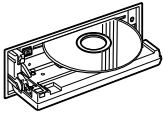
- 音質調整は各種の設定により表示される項目が変わります。また、より詳細に設定することもできます。詳しくは「オーディオコントロールの詳細設定」(p38)をご覧ください。
- プレイする音楽のジャンルにあった音質に簡単に設定することもできます。詳しくは「イコライザーカーブの呼び出し」(p40)をご覧ください。
- A、B、C、またはE以外のボタンを押すと、すぐに通常の表示に戻せます。

## DVDやVCD(ビデオCD)、ビデオ(MPEG)ファイルを観る



**A I**

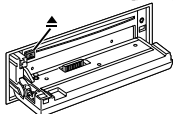
### DVD/VCD/ビデオファイルをプレイします



ボタン **A** を押して操作パネルを開きます。

ディスク挿入口にディスクを挿入すると、差し込んだディスクがプレイされます。メニューが表示された場合はカーソルキー **I** で項目を選び、ENTERキー **I** で決定します。

### ディスクを取り出します



[▲] (イジェクト) ボタンを押します。



- ディスクは水平に差し込んでください。
- ディスクが入っているときには、[IN] インジケーターが点灯します。
- ディスクが入っているときには、[SRC] ボタン **I** で「DVD」に切り替えるとプレイされます。
- 市販のDVDビデオのほかに、DVDに収録したビデオ(MPEG)ファイルを観ることができます。プレイできるビデオファイルの種類やディスクのフォーマットなどについては「ビデオファイル」(p60)をご覧ください。
- その他のいろいろなプレイ方法については、「DVD/VCD/Video file watching」(p20)をご覧ください。
- リモコンは使用するソースによりスイッチの切り替えが必要です。詳しくは「リモコンモードスイッチの切り替えかた」(p54)をご覧ください。

**F K**

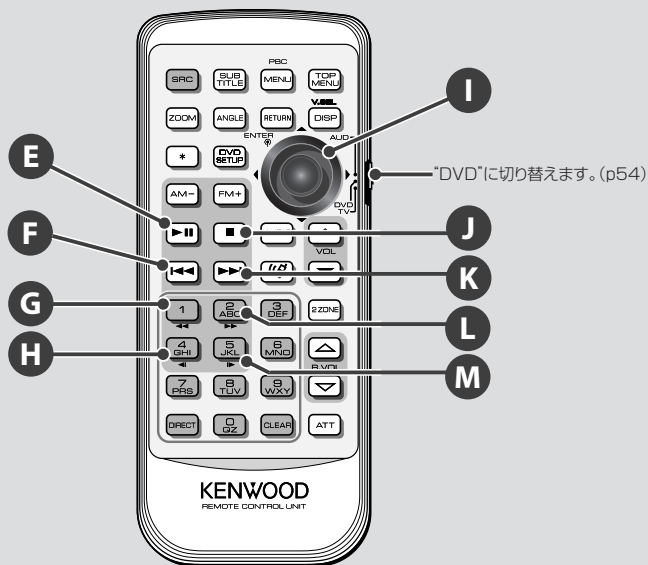
### チャプター / シーン / トラックを選びます

◀キー **F** を押すと、手前のチャプター / シーン / トラックがプレイされます。

▶キー **K** を押すと、次のチャプター / シーン / トラックがプレイされます。



- コントロールノブ **F** を左右に動かしても、同じ操作ができます。

**E J****プレイをストップします**

- キー **J** を押しと、プレイを停止します。
- ▶/⏸キー **F** を押しと、停止したところからプレイを再開します。



- ■キー **J** を2回押しと、次回プレイ時はDVDの最初からプレイします。
- 1 ボタン **L** を押ししてもプレイを停止できます。
- コントロールノブ **I** を押ししてもプレイを再開できます。

**E****プレイ/ポーズします**

- ▶/⏸キー **F** を一度押しと、プレイを一時停止します。
- もう一度押しと、プレイを再開します。



- コントロールノブ **I** を押ししても、同じ操作ができます。

**G L****早送り/早戻しします**

- ◀◀キー **G** を押しと、早戻しされます。
- ▶▶キー **L** を押しと、早送りされます。
- ▶▶キー **L** / ◀◀キー **G** を押したびに、早戻し/早送りのスピードが3段階に変わります。

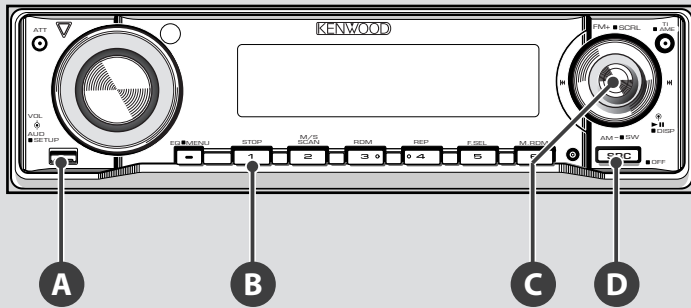
**H M****スロー再生します**

- ◀◀◀キー **H** を押しと、スロー再生されます。
- DVDビデオプレイ中は、▶▶▶キー **M** を押しと、逆スロー再生されます。
- ▶▶▶キー **M** / ◀◀◀キー **H** を押したびに、スロー再生のスピードが3段階に変わります。



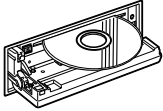
- 走行中は安全のため、フロントのモニターにはDVD/VCD/ビデオファイルの映像は表示しません。車両が停止してパーキングブレーキがかかると表示されます。
- モニターにオンスクリーン表示がされているとき、カーソルキー **I** はメニューなどの操作に使用されます。他の操作をするときは、オンスクリーン表示を消してください。

## CDやオーディオファイルを聴く



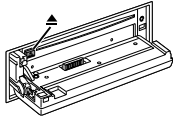
A

### CD/オーディオファイルをプレイします



▶ ボタン▲を押して操作パネルを開きます。  
ディスク挿入口にディスクを挿入すると、差し込んだディスクが  
プレイされます。

### ディスクを取り出します



[▲] (イジェクト) ボタンを押します。ディスクが排出されます。



- ディスクは水平に差し込んでください。
- ディスクが入っているときには、**[IN]** インジケータが点灯します。
- ディスクがすでに入っているときには、**[SRC]** ボタン④で "DVD" に切り替えるとプレイされます。
- 通常のCDのほか、オーディオファイルが収録されたCD-Rなどをプレイできます。  
プレイできるオーディオファイルの種類、フォーマット、書き込み方法などの詳細については、「Help? オーディオファイル」(p58)をご覧ください。
- その他のいろいろなプレイ方法については、「Music Disc & Audio file Listening」(p30)をご覧ください。



C

**早送り/早戻しします**

コントロールノブ⑥を右に押し続けると、押ししている間、曲が早送りされます。また、コントロールノブ⑥を左に押し続けると、押ししている間、早戻しされます。

C

**プレイする曲を選びます**

コントロールノブ⑥を右に動かすと、次の曲がプレイされます。  
コントロールノブ⑥を左に動かすと、プレイ中の曲の先頭/前の曲がプレイされます。

B

**プレイをストップします**

1 ボタン⑧を押すと、プレイが停止します。  
コントロールノブ⑥を押すと、ストップしたところからプレイを再開します。



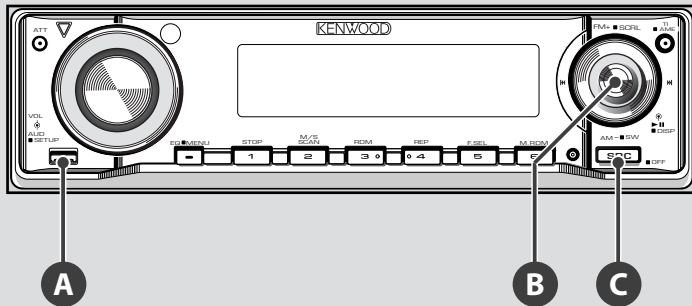
- 1 ボタン⑧を2回押すと、次回プレイ時はディスクの最初からプレイします。

C

**プレイ/ポーズします**

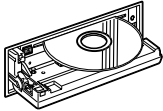
コントロールノブ⑥を一度押すと、プレイを一時停止します。  
もう一度押すと、プレイを再開します。

## ピクチャ(JPEG)ファイルを観る



A

### ピクチャファイルを表示します

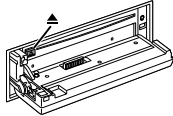


ボタンAを押して操作パネルを開きます。

ディスク挿入口にピクチャファイルを収録したディスクを挿入すると、ピクチャファイルが表示されます。

ピクチャファイルは20秒表示されると次のピクチャファイルを表示します。

### ディスクを取り出します



[▲] (イジェクト) ボタンを押します。



- ピクチャファイルの表示時間は変更することができます。設定方法は「モニター表示の設定」(p24)をご覧ください。
- ディスクは水平に差し込んでください。
- ディスクが入っているときには、[IN] インジケータが点灯します。
- ディスクが入っているときには、[SRC] ボタンCで「DVD」に切り替えると表示されます。
- 表示できるピクチャファイルの種類やディスクのフォーマットなどについては「ピクチャファイル」(p60)をご覧ください。

B

### 表示するピクチャファイルを選びます

コントロールノブEを左に動かすと、手前のピクチャファイルが表示されます。

コントロールノブEを右に動かすと、次のピクチャファイルが表示されます。

B

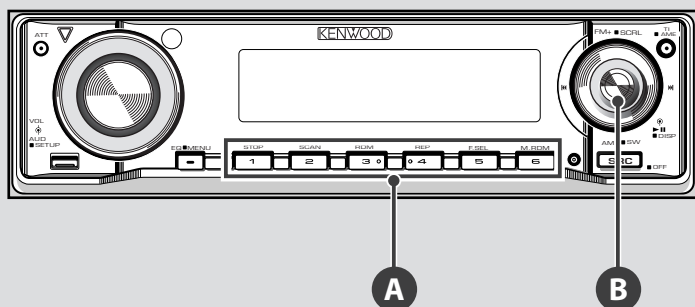
### 表示をポーズします

コントロールノブEを一度押すと、表示が切り替わらなくなります。もう一度押すと、ピクチャファイルが切り替わるようになります。



- 走行中は安全のため、フロントのモニターにはピクチャファイルの映像は表示されません。車両が停止してパーキングブレーキがかかる则表示されます。

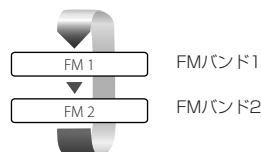
## ラジオを聴く



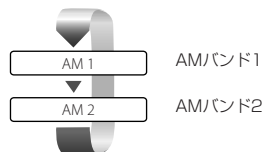
B

### バンドを切り替えます

コントロールノブ⑥を上動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。



コントロールノブ⑥を下動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。



- ステレオ受信中は「ST」インジケーターが点灯します。
- その他のいろいろなチューニング方法については、「Radio Listening」(p36)をご覧ください。

B

### 放送局を選択します

コントロールノブ⑥を左右に動かすと、受信状態の良い放送局を自動的に受信します。



- チューニングモードによって、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信することができます。詳しくは「チューニングモード」(p37)をご覧ください。

A

### プリセット局を受信します

ボタンを押すと、押したボタンにメモリーされている放送局を選局します。



- Aでのプリセットチューニングは、あらかじめ各ボタンに放送局がメモリーされている必要があります。メモリー方法については、「オートメモリー」(p36)または「マニュアルメモリー」(p36)をご覧ください。

# DVD/VCD/Video file watching

DVD/VCD/Video ファイルをいろいろな機能を使ってプレイできます。



- 基本的な DVD/VCD/Video ファイルの観かたは「DVD や VCD (ビデオ CD)、ビデオ (MPEG) ファイルを観る」(p14) をご覧ください。
- リモコンモードスイッチを「DVD」モードにしてから操作をしてください。(p54)

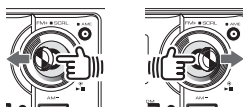
## コマ送り

コマ送り再生をします。

### 1 プレイをポーズします



### 2 コマ送りします



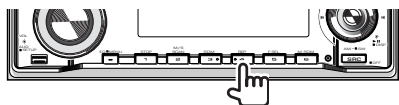
コントロールノブを右に動かすと、順方向にコマ送りされます。  
コントロールノブを左に動かすと、逆方向にコマ送りされます。



- ビデオファイルプレイ中は、逆方向へのコマ送りはできません。

## リピートプレイ

現在観ているチャプターやトラックなどを繰り返しプレイします。



### DVDプレイ時

表示	状態
TITL REP	タイトルリピートオン
CHAP REP	チャプターリピートオン
REP OFF	リピートプレイオフ

### VCDプレイ時

表示	状態
TRAC REP	トラックリピートオン
REP OFF	リピートプレイオフ

### ビデオファイルプレイ時

表示	状態
FILE REP	ファイルリピートオン
FOLD REP	フォルダリピートオン
REP OFF	リピートプレイオフ



- VCDのリピートプレイ機能は、PBCがオフに設定されているときに使用できます。  
PBCの設定については「PBCの設定」(p23) をご覧ください。

## 音声切り替え (VCDのみ)



音声チャンネルの設定をします。



押すたびに、次のように切り替わります。

表示	設定内容
LL	左音声のみを出力します。
RR	右音声のみを出力します。
ST	ステレオ音声を出力します。



- 本体の を押しても音声を切り替えられます。

## 音声言語切り替え (DVDのみ)



音声の言語を切り替えます。



押すたびに言語が切り替わります。



- ディスクによっては切り替えられない場合があります。この場合はDVDメニューまたはDVDセットアップで切り替えてください。

## 字幕言語切り替え (DVDのみ)



字幕の言語を切り替えます。



押すたびに言語が切り替わります。



- ディスクによっては切り替えられない場合があります。この場合はDVDメニューまたはDVDセットアップで切り替えてください。

## 映像アングル切り替え (DVDのみ)



映像のアングルを選びます。

アングルマーク が表示されているときに...



押すたびにアングルが切り替わります。



- ディスクによっては切り替えられない場合があります。この場合はDVDメニューまたはDVDセットアップで切り替えてください。

## ズーム



映像をズームして表示します。

### 1 ズーム倍率を設定します



押すたびに倍率が3段階に切り替わります。

### 2 表示位置を選びます



押した方向に表示位置が変わります。



- ディスクによっては、ズームができないシーンや解除されるシーンがあります。

## DVDメニュー(DVDのみ)



DVDのメニューを設定します。

### 1 DVDメニューを表示します



### 2 項目を選択します



押した方向へカーソルが移動します。カーソルを設定したい項目に合わせます。DVDのメニューについてはDVDの取扱説明書をご覧ください。

### 3 項目を決定します



メニュー表示を解除するには…



最初のメニュー項目に戻すには…



- ディスクによっては、**[TOP MENU]**で最初のメニュー項目に切り替えられない場合があります。

## PBCの設定 (VCDのみ)



PBC (プレイバックコントロール) の設定をします。



押すたびにPBC機能がオン/オフします。

# DVD setup

ディスプレイなどに関する機能の設定をします。



- 基本的な DVD/VCD/Video ファイルの観かたは「DVD や VCD (ビデオ CD)、ビデオ (MPEG) ファイルを観る」(p14) をご覧ください。
- リモコンモードスイッチを「DVD」モードにしてから操作をしてください。(p54)
- 本機にディスクが入っていない状態で設定してください。

## モニター表示の設定

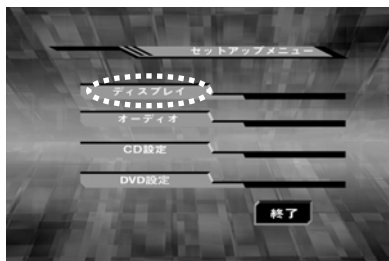


モニターに表示される情報などの設定をします。

### 1 セットアップモードにします



### 2 ディスプレイメニューを表示します



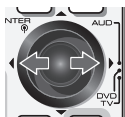
### 3 設定する項目を選択します



JPEG設定時は、さらに項目を選択します。



### 4 項目を設定します



#### ステータス情報

ステータスやアイコン表示のオン/オフ設定をします。

表示	設定
ON*	表示します
OFF	表示しません

#### 壁紙

壁紙を2種類から選択します。

表示	設定
Type1*	タイプ1
Type2	タイプ2

#### オーディオ情報

文字情報表示のオン/オフ設定をします。

表示	設定
ON*	表示します
OFF	表示しません

#### JPEG SETUP MENU

##### Display Time

JPEGを表示する時間を設定します。

表示	設定
Short	10秒間表示
Middle*	20秒間表示
Long	30秒間表示

##### Display Effect

JPEG表示時の視覚効果のオン/オフ設定をします。

表示	設定
ON*	視覚効果がかかります。
OFF	視覚効果はかかりません。

\* お買い上げ時の設定状態を示します。



## 5 設定を終了します



各画面で **OK** を選択すると前の画面に戻ります。

## オーディオの設定

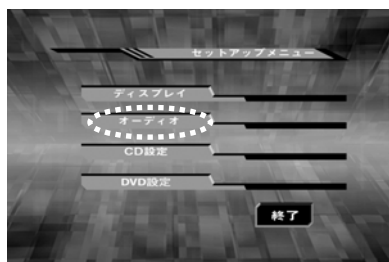


DVDのオーディオ機能の設定をします。

## 1 セットアップモードにします



## 2 オーディオメニューを表示します



## 3 項目を設定します



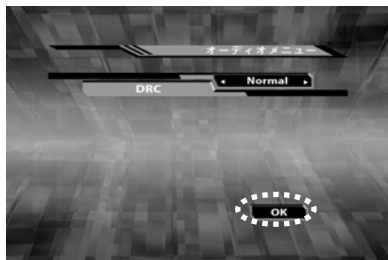
## DRC(Dynamic Range Control)

ドルビーデジタル対応のタイトルをプレイ時に、音声のダイナミックレンジの設定をします。

表示	設定
Wide*	広く設定します
Normal	}
Narrow	狭く設定します

\* お買い上げ時の設定状態を示します。

## 4 設定を終了します



各画面で **OK** を選択すると前の画面に戻ります。

## CDプレーヤーの設定

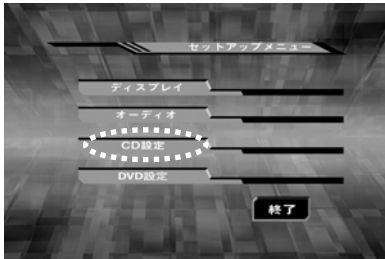


CDプレーヤーのプレイの設定をします。

### 1 セットアップモードにします



### 2 CDプレーヤーメニューを表示します



### 3 項目を設定します



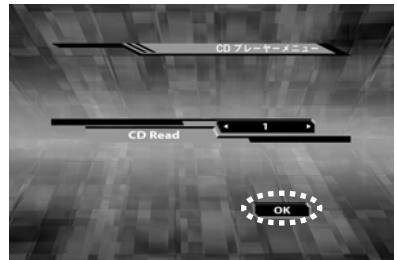
#### CD Read

CDの読み込み方法を設定します。

表示	設定
1*	オーディオファイルのディスクと音楽CDを自動的に識別します。
2	音楽CDとして強制的にプレイします。

\* お買い上げ時の設定状態を示します。

### 4 設定を終了します



各画面で **OK** を選択すると前の画面に戻ります。

## DVDプレーヤーの設定

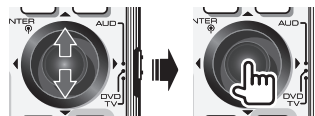
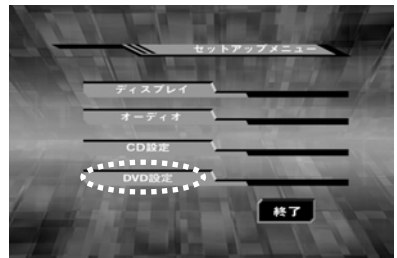


DVDプレイ中の言語や表示などの設定をします。

### 1 セットアップモードにします



### 2 DVDプレーヤーメニューを表示します



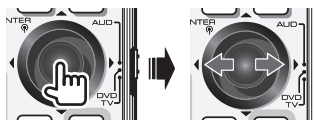
### 3 設定する項目を選択します。



言語設定時は、さらに項目を選択します。



### 4 項目を設定します



#### 言語設定

DVDプレイ中に表示する字幕や音声などの設定をします。

設定方法は「言語設定」(p28)をご覧ください。

#### パレンタル

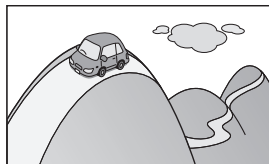
パレンタルレベル(視聴制限)を設定します。

設定方法は「視聴制限設定/変更」(p29)をご覧ください。

#### TVタイプ

16:9の映像の表示方法を、TVタイプに合わせて設定します。

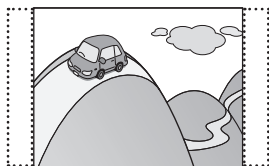
表示	設定
ワイド	16:9のモニターで16:9の映像をそのまま表示します。



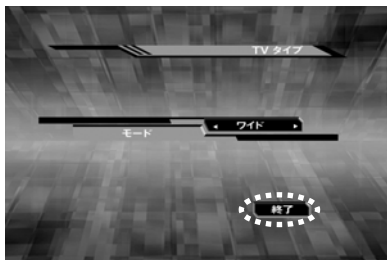
レターボックス 4:3のモニターでレターボックス方式(上下に黒い帯がある映像)で表示します。



パンスキャン 4:3のモニターでパン&スキャン方式(左右が切れている映像)で表示します。



### 5 設定を終了します



各画面で「終了」を選択すると前の画面に戻ります。

## 言語設定



DVDの字幕や音声、メニューの言語を設定します。

### 1 言語メニュー画面にします



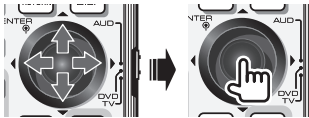
「DVDプレーヤーの設定」(p26)をご覧ください。

### 2 設定する言語の項目を選択します



表示	設定
音声言語	音声言語を設定します。
字幕言語	字幕言語を設定します。
メニュー言語	メニュー言語を設定します。

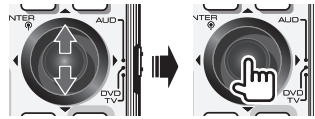
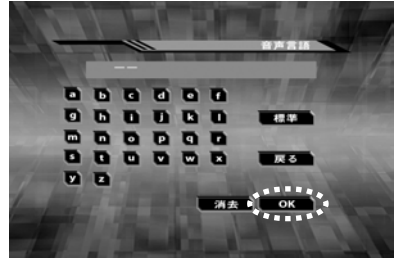
### 3 言語コードを入力します



言語コードは、「DVD言語コード」(p71)を参照してください。

表示	設定
標準	DVDのオリジナル言語になります。(音声言語を設定時のみ)
戻る	設定を中止して前の画面に戻ります。
消去	入力済みのコードを消去します。

### 4 設定を終了します。



各画面で「OK」や「戻る」を選択すると前の画面に戻ります。

## 視聴制限設定/変更



ディスクやシーンの視聴制限や暗証番号の変更をします。

### 1 バレントル画面にします



「DVDプレーヤーの設定」(p26)をご覧ください。2回目以降の設定時は「暗証番号入力」と表示されます。

### 2 4桁の暗証番号を入力し、**OK** を選択します



### 3 設定する項目を選択します



#### レベル

視聴制限レベルを設定します。

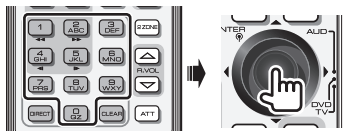


表示	設定
OFF	視聴制限をしません。
1	視聴制限 高
}	}
8	視聴制限 低

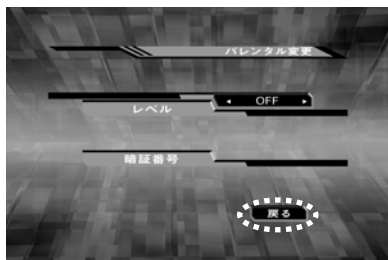
#### 暗証番号

視聴制限の暗証番号を変更するときに入力します。

4桁の暗証番号を入力し、**[OK]**を選択します。



### 4 設定を終了します



各画面で **OK** や **戻る** を選択すると前の画面に戻ります。



- 本機をリセットすると視聴制限のレベルと暗証番号は消去されます。
- ディスクによっては、設定した視聴制限レベルより高いシーンになると、暗証番号の入力が要求される場合があります。この場合、暗証番号を入力すると、プレイが再開されます。
- プレイしているディスクに視聴制限機能がない場合は、視聴制限はされません。

# Music Disc & Audio file Listening

CD やオーディオファイルを本機や別売品のディスクチェンジャーでいろいろな機能を使ってプレイできます。



- CD とオーディオファイルの基本的な聴きかたは「CD やオーディオファイルを聴く」(p16) をご覧ください。

## ディスク/フォルダサーチ

(オーディオファイル、ディスクチェンジャーのみ)

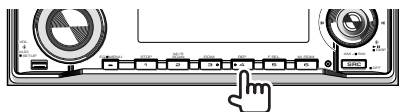
プレイするディスクやフォルダを選択します。



- ディスクサーチは、別売品のディスクチェンジャーのプレイ中に使用できます。
- フォルダサーチの詳細については「オーディオファイル」(p58) をご覧ください。

## リピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクやフォルダ内の曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、次の順でオン/オフされます。

### CDプレイ中

表示	状態
TRAC REP	トラックリピートオン
DISC REP*	ディスクリピートオン
REP OFF	リピートプレイオフ

\* ディスクチェンジャーのみ

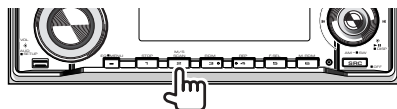
### オーディオファイルプレイ中

表示	状態
FILE REP	ファイルリピートオン
FOLD REP	フォルダリピートオン
REP OFF	リピートプレイオフ

## スキャンプレイ

ディスクやフォルダの各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

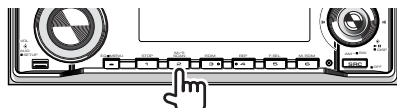
### 1 スキャンプレイを開始します



TRAC SCN (CDプレイ中)

▶ FILE SCN (オーディオファイルプレイ中)

### 2 聴きたい曲のところで...



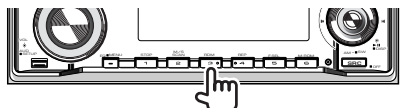
スキャンプレイが終了し、その曲からプレイされます。



- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

## ランダムプレイ

プレイ中のCD、またはフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。



DISC RDM (CDプレイ中)

▶ FOLD RDM (オーディオファイルプレイ中)

押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。



- コントロールノブを右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。

## タイトル/テキストスクロール

タイトル/テキストをスクロールさせます。

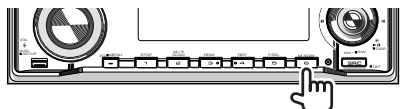


- スクロールできるのは次のタイトル/テキストです。
  - ディスクタイトル/トラックタイトル
  - 曲名/アルバム名/フォルダ名/ファイル名
- この操作では、モニターに表示されるタイトル/テキストはスクロールされません。
- 「メニュー設定」(p44)の「DISP」を「OFF」に設定しているときは、スクロール中にディスプレイが消える場合があります。

## マガジンランダムプレイ

(ディスクチェンジャーのみ)

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中の曲をランダムな順でプレイします。



▶ MGZN RDM

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。



- コントロールノブを右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。

# Select Mode

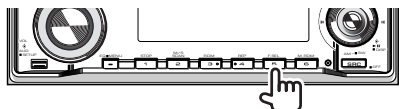
聴きたいオーディオファイルや観たいビデオファイル/ピクチャファイルを、ファイルナンバーを指定したり、フォルダ名を参照して選択できます。ディスクサーチやフォルダサーチとは違い、ファイルやフォルダを確定するまではプレイするファイルが変わりません。



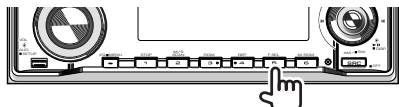
- セレクトモードはオーディオファイル、ビデオファイル、ピクチャファイルをプレイ中のみ操作できます。

## セレクトモード

### 1 セレクトモードにします



### 2 セレクトモードを選択します



押すたびに、次の順でセレクトモードが切り替わります。

表示	設定内容
FILE SEL	ファイルセレクトモード
FLD SEL1	フォルダセレクト1モード
FLD SEL2	フォルダセレクト2モード
通常の表示	セレクトモードオフ

### 3 ファイルまたはフォルダを選択します

詳しい操作方法は、「ファイルセレクト」(p32)、「フォルダセレクト1」(p33)、および「フォルダセレクト2」(p33)をご覧ください。



- 「スキャンプレイ」(p30) および「ランダムプレイ」(p31) 中は、ファイルセレクトを選択できません。
- セレクトモードの動作例は「オーディオファイル」(p58) をご覧ください。
- セレクトモード中もタイトルのスクロールが可能です。詳しくは「タイトル/テキストスクロール」(p31)をご覧ください。

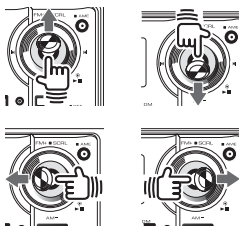
## ファイルセレクト

プレイ中のフォルダから、ファイルナンバーを指定してファイルを選択します。

### 1 ファイルセレクトモードにします

フォルダ内の最初のファイル名が表示されます。モードの選択のしかたは、「セレクトモード」(p32)をご覧ください。

### 2 ファイルナンバーを入力します



コントロールノブの操作	ファイルナンバーの増減
上	+10
下	-10
右	+1
左	-1

入力したファイルナンバーのファイル名が表示されます。

### 3 表示中のファイルをプレイします





## フォルダセレクト1

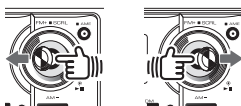
メディアの階層を追ってフォルダを探します。オーディオファイルをジャンルやアーティスト別にフォルダ管理しているメディアを使用しているときに便利です。

### 1 フォルダセレクト1モードにします

モードの選択のしかたは、「セレクトモード」(p32)をご覧ください。

### 2 フォルダを選択します

同一階層内でフォルダを選ぶときは...



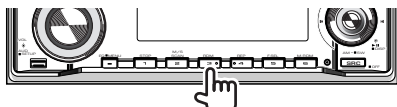
左に動かすたびに手前のフォルダへと移動し、右に動かすたびに次のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を移動するときは...



上に動かすたびに1階層下へと移動し、下に動かすたびに1階層上へと移動します。

第1階層に戻るときは...



### 3 表示中のフォルダをプレイします



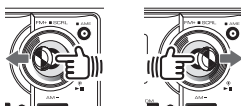
## フォルダセレクト2

フォルダの順番を追って選択します。プレイできるオーディオファイルが保存されているフォルダのみを表示します。

### 1 フォルダセレクト2モードにします

モードの選択のしかたは、「セレクトモード」(p32)をご覧ください。

### 2 フォルダを選択します



左に動かすたびに手前のフォルダへと移動し、右に動かすたびに次のフォルダへと移動します。

表示中のフォルダが入っているフォルダ名を表示するには...



上に動かすたびに、1階層上のフォルダ名を表示します。上の階層のフォルダ名を表示しているときは「\*」が表示されます。

下に動かすと、表示が1階層戻ります。

### 3 表示中のフォルダをプレイします



- 上階層のフォルダ名を表示している場合でも、プレイされるのは現在選択中のフォルダ（「\*」が表示されていない名称のフォルダ）で、選択しているフォルダが変わっているわけではありません。

# Picture file watching

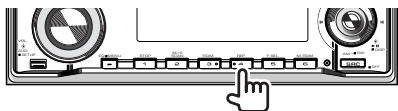
ピクチャファイルをいろいろな機能を使って表示できます。



- ピクチャファイルの基本的な観かたは「ピクチャ (JPEG) ファイルを観る」(p18) をご覧ください。

## リピートプレイ

現在観ているピクチャファイルやフォルダ内のピクチャファイルを繰り返し表示します。



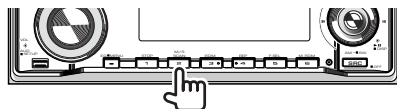
押すたびに、次の順でオン/オフされます。

表示	状態
FILE REP	ファイルリピートオン
FOLD REP	フォルダリピートオン
REP OFF	リピートプレイオフ

## スキャンプレイ

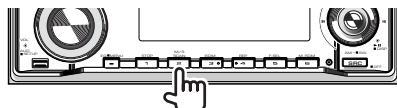
フォルダ内のピクチャファイルを10秒間ずつ表示して探します。

### 1 スキャンプレイを開始します



▶ FILE SCN

### 2 観たいファイルのところで...



スキャンプレイが終了し、そのファイルから表示されます。

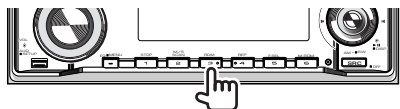


- すべてのファイルがスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。



## ランダムプレイ

表示中のフォルダ内のピクチャファイルをランダムな順で表示します。



▶ FOLD RDM

押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。



- コントロールノブを右に動かすと、次のファイルをランダムに選択します。

## 表示を停止する



ピクチャファイルの表示を停止します。



## 表示を再開する



表示を停止したところから表示を再開します。

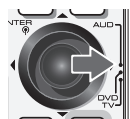


- キーを2回押して表示を再開すると、ディスクの最初から表示します。
- 本体の キーを押しても表示を停止できます。表示を再開するときはコントロールノブを押します。

## 表示の回転/反転

ピクチャファイルを回転したり、反転して表示します。

### 右に回転させる



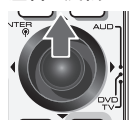
押すたびに、時計回りに90度回転します。

### 左に回転させる



押すたびに、反時計回りに90度回転します。

### 左右に反転させる



もう一度押すと元に戻ります。

### 上下に反転させる



もう一度押すと元に戻ります。

# Radio Listening

FM/AM 放送を受信します。また、各バンドごとに 6 局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

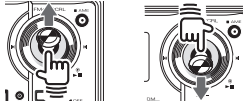


- 基本的な FM/AM 放送の聴きかたは「ラジオを聴く」(p19) をご覧ください。

## オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

### 1 バンドを選びます



### 2 オートメモリーを開始します



▶ A-MEMORY



- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

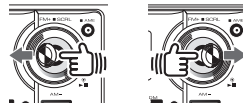
## マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

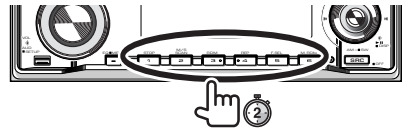
### 1 バンドを選びます



### 2 放送局を選びます



### 3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



▶ FM1-82.5

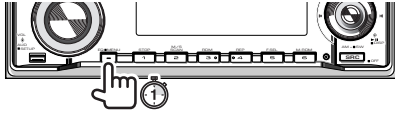


- オートメモリーではメモリーされない放送局をメモリーしたいときなどに便利です。

## チューニングモード

選局するときのチューニングモードを設定します。

### 1 メニューモードにします

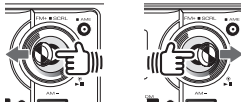


MENU

### 2 チューニングモードの項目を選択します



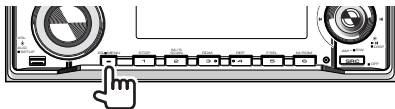
### 3 チューニングモードを選びます



チューニングモードには、次の3種類があります。

表示	設定内容
AUTO 1	受信状態の良い放送局を受信します。(オート1)
AUTO 2	メモリーされている放送局を受信します。(オート2)
MANUAL	受信する周波数を1ステップずつアップ/ダウンします。(マニュアル)

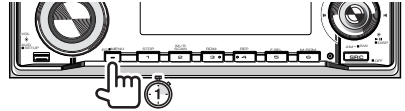
### 4 メニューモードを終了します



## モノラルモード (FM放送受信時のみ)

FMステレオ放送の受信状態が良くないときにモノラルモードにすると、ノイズが軽減されて聴きやすくなる場合があります。

### 1 メニューモードにします

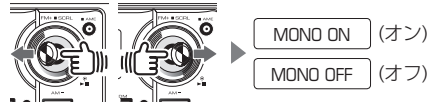


MENU

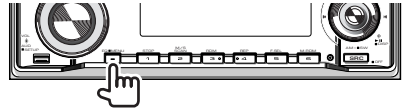
### 2 モノラルモードの項目を選択します



### 3 モノラルモードをオン/オフします



### 4 メニューモードを終了します



# Audio Control

イコライザーやスピーカ設定などの音響効果を設定します。

## オーディオコントロールの詳細設定

オーディオコントロールでは次の項目を設定できます。

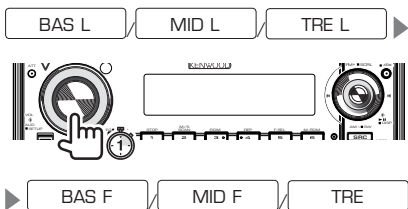
表示	設定内容
R-VOL	リアスピーカの音量を調整します。 (調整範囲：0～35)
SW L	サブウーファースの音量を調整します。 (調整範囲：-15～+15)
BAS L	低音域の音量を調整します。
MID L	中音域の音量を調整します。
TRE L	高音域の音量を調整します。
BAL	左右の音量バランスを調整します。
FAD	前後の音量バランスを調整します。



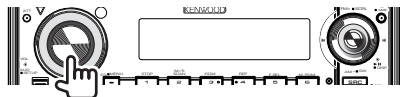
- 設定方法は「音質などを調整します」(p13)をご覧ください。
- 低音域、中音域、高音域の設定は、ソースごとに設定できます。
- 「R-VOL」は、デュアルゾーン機能がオンに設定されているときに調整できます。  
また、「SW L」と「FAD」は、デュアルゾーン機能がオンに設定されているときは調整できません。  
デュアルゾーン機能については「オーディオセットアップ」(p39)をご覧ください。
- 「SW L」は、メニュー設定で「SWPRE」が「SW」(サブウーファース)に設定され、さらにサブウーファース出力がオンに設定されているときに調整できます。  
「SWPRE」の設定については「メニュー設定」(p44)、サブウーファース出力については「サブウーファース出力コントロール」(p40)をご覧ください。

さらに、低音、中音、高音の調整をきめ細かく設定できます。

### 1 詳細設定を開始します



### 2 調整する項目を選びます



押すたびに、次の順で切り替わります。

#### “BAS L”で押したとき

表示	設定内容
BAS F	調整する低音域の中心周波数
BAS Q	低音クオリティファクター
B EX	低音中心周波数伸張

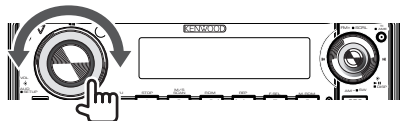
#### “MID L”で押したとき

表示	設定内容
MID F	調整する中音域の中心周波数
MID Q	中音クオリティファクター

#### “TRE L”で押したとき

表示	設定内容
TRE	調整する高音域の中心周波数

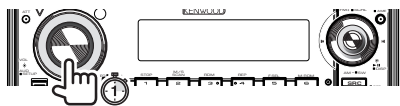
### 3 各項目を調整します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

項目	設定範囲
BAS F	40/50/60/70/80/100/120/ 150 (Hz)
BAS Q	1.00/1.25/1.50/2.00
B EX	OFF/ON
MID F	0.5/1.0/1.5/2.0 (kHz)
MID Q	1.0/2.0
TRE	10.0/12.5/15.0/17.5 (kHz)

#### 4 詳細設定を終了します

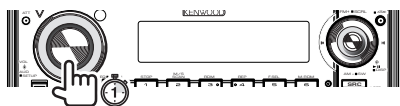


- 各調整項目については「Help? Term」(p65)をご覧ください。
- オーディオコントロールの設定をすると、イコライザーカーブは“USER”に設定されます。イコライザーカーブについては「イコライザーカーブの呼び出し」(p40)をご覧ください。

### オーディオセットアップ

音量オフセットやデュアルゾーン機能などを設定します。

#### 1 オーディオセットアップを開始します



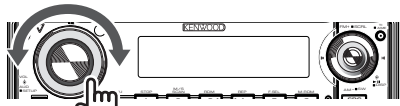
#### 2 設定する項目を選びます



押すたびに、次の順で切り替わります。

項目	設定範囲
HPF	フロントのハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
HPR	リアのハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
LPF	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
PHAS	サブウーファーの位相を設定します。
V-OFF	各ソースごとの、音量の差を調整します。
N-VOL	ナビ音声ガイド時の音量を設定します。
AVOUT	AV OUT端子の出力レベルを設定します。
2ZON	デュアルゾーン機能のオン/オフを設定します。

#### 3 各項目を設定します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

項目	設定範囲
HPF/HPR	THRU(フィルターオフ) /40/60/80/100/120/150 /180/220(Hz)
LPF	50/60/80/100/120/ THRU(フィルターオフ)(Hz)
PHAS	REV(180°)/NML(0°)
V-OFF	-8 ~ 0
N-VOL	0 ~ 25
AVOUT	-15 ~ 0
2ZON	OFF/DVD/AUX

#### 4 オーディオセットアップを終了します

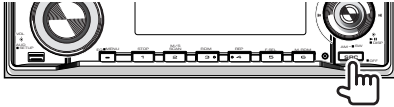


- “V-OFF”でソースごとに音量オフセットを設定しておくと、ソースを切り替えてもほぼ同じ音量で聴くことができます。
- “2ZON”をオン(“DVD”/“AUX”)に設定しているときは、“V-OFF”と“N-VOL”のみ設定ができます。
- デュアルゾーン機能を使うと、フロントスピーカー(本機のソース)とリアスピーカー(本機のディスクソースまたは内蔵AUX)に入力された音声)で別のソースを出力できます。
- “LPF”および“PHAS”は、メニュー設定で“SWPRE”項目が“SW”(サブウーファー)に設定され、サブウーファー出力がオンに設定されている必要があります。“SWPRE”の設定については「メニュー設定」(p44)、サブウーファー出力については「サブウーファー出力コントロール」(p40)をご覧ください。
- “PHAS”は、“LPF”が“THRU”に設定されているときは設定できません。
- “N-VOL”は、「メニュー設定」(p44)の“GUID”項目が“INT”に設定されているときに設定できます。
- “AVOUT”は、「メニュー設定」(p44)の“SWPRE”項目が“AV”に設定されているときに設定できます。

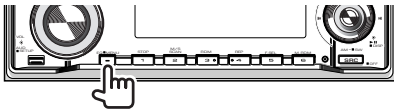
## イコライザーカーブの呼び出し

プレイする曲に合わせて、イコライザーカーブを呼び出します。また、呼び出したイコライザーカーブを調整します。

### 1 設定したいソースにします



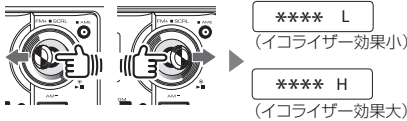
### 2 イコライザーカーブを呼び出します



押すたびに、次の順で切り替わります。

表示	設定内容
USER	ユーザー
ROCK	ロック
VOCAL	ボーカル
EASY	イージー
DANCE	ダンス
JAZZ	ジャズ
NATURAL	ナチュラル

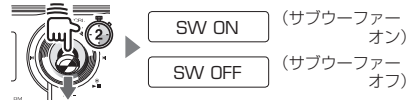
### 3 調整をします



- イコライザーカーブは、ソースごとに設定できます。
- “USER” は「音質などを調整します」(p13) で設定した値です。
- イコライザーカーブの設定を変えると「音質などを調整します」で調整した値 (“BAS L”、“MID L” および “TRE L”) は、イコライザーカーブの値に置き替えられます。

## サブウーファー出力コントロール

サブウーファー出力のオン/オフを設定します。



- デュアルゾーン機能がオンになっているときには設定できません。
- サブウーファーのオン/オフは、「メニュー設定」(P44)の“SWPRE”項目が“SW” (サブウーファー) に設定されているときに設定できます。



ディスプレイに表示する情報の設定やモニター見ながらプレイするファイルを選択したりパネルの脱着をします。

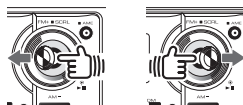
## ディスプレイ選択

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

### 1 ディスプレイ選択を開始します



### 2 表示を選択します



押すたびに、次の順で切り替わります。

#### STANDBY/AUX時

表示	設定内容
SRC NAME	"STANDBY" /AUXネーム表示
CLOCK	時計表示

#### FM/AM受信、交通情報受信時

表示	設定内容
FREQ	周波数表示
CLOCK	時計表示

#### CDプレイ時

表示	設定内容
D-TITLE*1	ディスクタイトル
T-TITLE*1	トラックタイトル
P-TIME	トラック No.& プレイタイム
A-TIME*2	ディスクプレイタイム
R-TIME*2	ディスク残りプレイタイム
CLOCK	時計表示

\*1 登録されていない場合はプレイタイムが表示されません。

\*2 CDチャンジャーでは表示されません。

#### オーディオファイル/ビデオファイル/ピクチャファイルプレイ時

表示	設定内容
TITLE*3*4	曲名&アーティスト名
ALBUM*3*4*5	アルバム名&アーティスト名
FOLDER	フォルダ名
FILE	ファイル名
P-TIME	トラック No.& プレイタイム
V-LABEL*4	ボリュームラベル
CLOCK	時計表示

\*3 ビデオファイル、ピクチャファイルは表示できません。

\*4 登録されていない場合はプレイタイムが表示されません。

\*5 WMAプレイ中はプレイタイムが表示されます。

#### DVDプレイ中

表示	設定内容
C-TIME	チャプタープレイ時間
T-TIME	タイトルプレイ時間
R-TIME	ディスク残りプレイタイム
TNO:CNO	タイトル/チャプター番号
V-LABEL	ボリュームラベル
CLOCK	時計表示

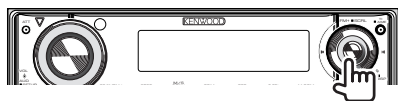
#### VCDプレイ中

表示	設定内容
P-TIME*6	トラックプレイ時間
S-TIME*7	シーンプレイ時間
A-TIME*6	ディスクプレイタイム
R-TIME*6	ディスク残りプレイタイム
V-LABEL	ボリュームラベル
CLOCK	時計表示

\*6 PBC機能がオフのときに表示できます。

\*7 PBC機能がオンのときに表示できます。

### 3 ディスプレイ選択を終了します



- LXアンプが接続されている場合は、LXアンプの情報が選択できます。

## モニターへの情報表示と ファイル選択

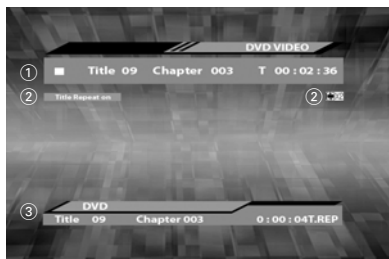


モニターにプレイ中のディスクソースに関する情報を表示したり、プレイするファイルを選択します。

### 1 ソース情報を表示します



モニターにソースに関する情報が表示されます。モニターに映像を表示していないときは常時表示されています。



#### ① メディア情報

プレイタイムやテキスト情報などが表示されます。

#### ② ステータス情報

プレイ機能の設定状態が表示されます。

#### ③ ソース情報表示

ラジオなどを受信中は受信周波数やバンド、チャンネル数などが表示されます。DVDなどをプレイ中は、プレイタイムやタイトル/トラック/チャプターナンバー、各機能の設定状態などが表示されます。

### 2 ディスクやファイルに関する情報を表示します

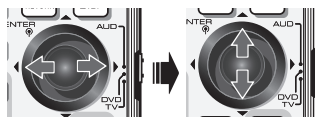


ディスクやファイルに関する情報が表示されます。

ディスクによっては、押すたびに表示される情報が切り替わります。



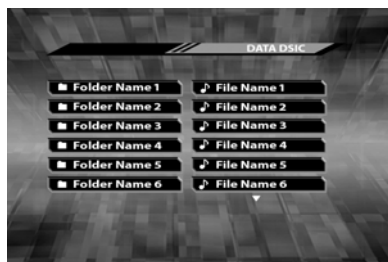
“▲” “▼”が表示されているときは、表示する情報を選択できます



### 3 ファイルリストを表示します



オーディオファイル、ムービーファイル、ピクチャファイルのリストが表示されます。



### 4 リストからファイルを選択してプレイします

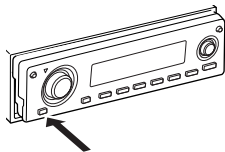


- プレイ中のディスクにオーディオファイル、ムービーファイル、ピクチャファイルが無い場合は、ファイルリストは表示できません。

## 操作パネルの取り外し

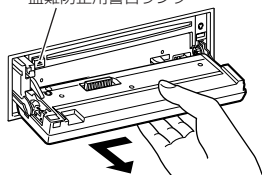
操作パネルを取り外します。

### 1 操作パネルを開きます



### 2 操作パネルを取り外します

盗難防止用警告ランプ

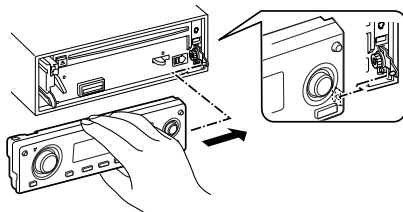


- パネルを取り外すと電源がオフになります。
- パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する恐れがあります。パネルを取り外した後は、大切に保管してください。
- 取り外したパネルは、以下のような場所に保管しないでください。
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿度が高い場所
  - ほこりのかかる場所
- 本機はDSI（セキュリティインジケーター）機能を採用しています。「メニュー設定」（p44）の「DSI」項目を「ON」にしておくとパネルを取り外したときに、盗難防止用警告ランプが点滅し、盗難防止の手助けになります。

## 操作パネルの取り付け

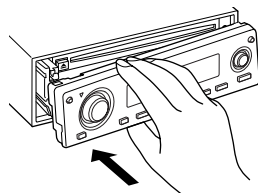
操作パネルを取り付けます。

### 1 操作パネルを本体に合わせます



本体の右側シャフト部にパネルを合わせて押し込みます。

### 2 操作パネルを取り付けます



パネル左側を本体に合わせてロックします。パネルが取り付け、本機が使用可能となります。

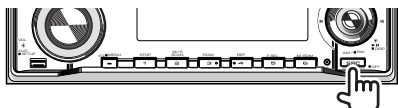
# Menu

各種の機能を設定します。

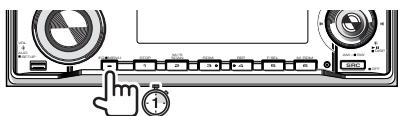
## メニュー設定

各ソースごとに、各種の機能を設定します。

### 1 ソースを切り替えます



### 2 メニューモードにします



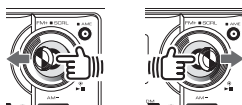
MENU

### 3 設定する項目を選択します



表示される項目は、ソースによって異なります。

### 4 各項目を設定します



- ページ数が表記されている項目の設定方法は、それぞれのページを参照してください。

表示	設定	設定概要	ソース
CODE SET/CLR	p46参照	セキュリティコードの設定と解除をします。	<b>SB</b>
BEEP	ON*/OFF	操作音の有無を設定します。	<b>SB</b>
CLK ADJ	p48参照	時刻を設定します。	<b>SB</b>
DSI	ON*/OFF	盗難防止用LEDを設定します。	<b>SB</b>
KEY	GRN*/RED	ボタンのイルミネーション色を設定をします。	<b>SB</b>
DISP	ON*/OFF	操作しないときは、ディスプレイを消します。	
DIM	ON*/OFF	周囲の明るさに合わせて、ディスプレイの輝度が調整されます。	<b>SB</b>
SWPRE	R*/SW/AV	プリアウトの出力信号を設定します。	<b>SB</b>
AMP	ON*/OFF	内蔵アンプのオン/オフ設定をします。	<b>SB</b>
ZONE2	R*/F	デュアルゾーン機能のサブソースの出力先を設定します。	<b>SB</b> <sup>2/3/4</sup>
BMS	FLT* +6/+12/ +18	BMS機能搭載アンプの低音域の増幅量の設定をします。	<b>SB</b> <sup>2/3/4</sup>
BMSF	NML*/LOW	BMSで増幅する中心周波数を設定します。	<b>SB</b> <sup>2/3/4</sup>
AMP CTRL	p49参照	LXアンプの各種設定をします。	<b>SB</b> <sup>2/3/4</sup>
AUTO1/AUTO2/MANUAL	AUTO1*/AUTO2*/MANUAL	放送局の選択方法を設定します。(p37参照)	<b>Tuner</b>
MONO	OFF*/ON	モノラル音声で受信します。(p37参照)	<b>FM</b>
NAME SET	p48参照	AUXソースに名前を付けます。	<b>AUX</b>
SCL	AUTO*/MANU	テキスト表示を自動的にスクロールするか設定します。	
GUID	OFF*/ATT/INT	接続されているナビの音声ガイド時の設定をします。	<b>SB</b>
AUX	OFF*/ON	ソース選択時に内蔵AUXを表示するか設定します。	<b>SB</b>
CD READ	1*/2	CDの読み取りモードを設定します。	<b>SB</b>

表示	設定	設定概要	ソース
A- PRESET	p50参照	オーディオ設定の登録-呼び出しをします。	<b>SB</b>
DEMO	ON*/OFF p50参照	デモンストレーションの設定をします。	<b>SB</b>
M/V	設定はありません。	マクロビジョンのバージョンを表示します。	<b>DVD</b>

\* お買い上げ時の設定状態を示します。

**SB** : スタンバイ中に設定できます。

**SB<sub>OFF</sub>** : スタンバイ以外有的时候きに設定できます。

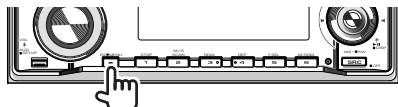
**DVD** : DVDソース中に設定できます。

**Tuner** : Tunerソース中に設定できます。

**FM** : FMを受信中に設定できます。

**AUX** : AUX/AUX EXTソース中に設定できます。

## 5 メニューモードを終了します



- “ZONE2” は、デュアルゾーン機能がオンに設定されているときに表示されます。
- “SWPRE” は、デュアルゾーン機能がオフに設定されているときに表示されます。
- “CD READ” は、本機にディスクが入っていないときに設定できます。
- 各項目の詳細は「Help? Term」(p66)をご覧ください。
- AUXソースを使用しないときは、“AUX” は “OFF” のままに設定しておいてください。
- セキュリティコードが設定されているときは、“CODE SET” (設定) のかわりに “CODE CLR” (解除) が表示されます。
- “SWPRE” の設定を変更すると、「オーディオセットアップ」(p39)の “AVOUT” 設定値は “-15” になります。
- “DISP” は、“DEMO” が “OFF” のときに設定できます。

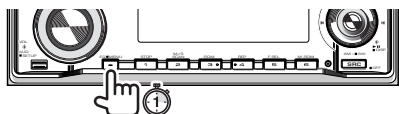
## セキュリティコードの設定

暗証番号を設定して、盗難を抑制します。



- 設定したセキュリティコードの変更・解除には、セキュリティコードが必要です。セキュリティコードは必ずメモしておくことをお勧めします。
- セキュリティコードの設定は、デモンストレーションモードをOFFにしてから設定してください。詳しくは「デモンストレーション設定」(p50)をご覧ください。

### 1 メニューモードにします

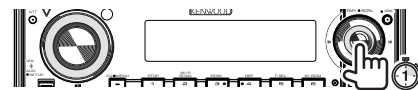


MENU

### 2 セキュリティコードセットの項目を選択します



### 3 セキュリティコードセットを開始します



ENTER CODE: ----

### 4 セキュリティコードを入力します

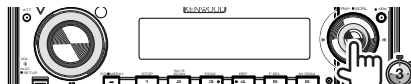
入力する桁を選択するには



入力する数字を選択するには



### 5 決定します

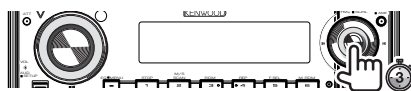


RE-ENTER CODE: ----

### 6 もう一度入力します

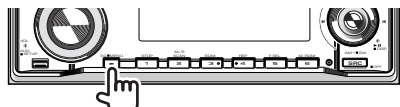
手順4と同じ方法で、同じセキュリティコードを入力します。

### 7 決定します



APPROVED

### 8 セキュリティコードセットを終了します

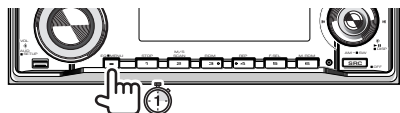


- 手順6で入力したセキュリティコードが手順4で入力したセキュリティコードと異なる場合は、手順4からやりなおすことになります。
- セキュリティコードが設定されると、リセットボタンを押したときやバッテリーの接続を切った場合にセキュリティコードの入力が必要となります。詳しくは、「セキュリティコードの入力」(p47)をご覧ください。
- セキュリティコードは、STANDBY中に行えます。基本的なメニューモードの操作方法は「メニュー設定」(p44)をご覧ください。

## セキュリティコードのクリア

セキュリティコードの設定を解除します。

### 1 メニューモードにします

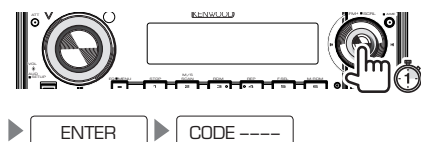


MENU

## 2 セキュリティコードクリア項目を表示します

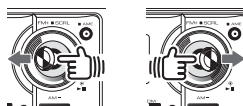


## 3 セキュリティコードクリアの項目を選択します



## 4 セキュリティコードを入力します

入力する桁を選択するには

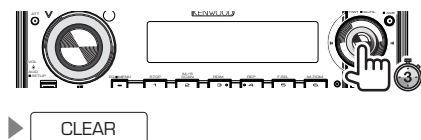


入力する数字を選択するには

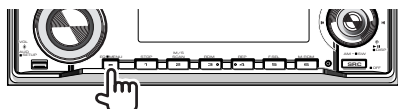


「セキュリティコードの設定」(p46) で設定したセキュリティコードを入力します。

## 5 決定します



## 6 セキュリティコードクリアを終了します



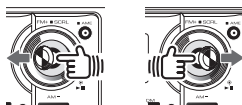
- セキュリティコードクリアは、STANDBY中に行えます。基本的なメニューモードの操作方法は「メニュー設定」(p44) をご覧ください。
- 入力したセキュリティコードがまちがっていると「ERROR」と表示されます。再度手順4からの操作を行って正しいコードを入力してください。

## セキュリティコードの入力

セキュリティコードが設定されている場合、リセットボタンを押した後や本機をバッテリーから外した後で初めて使うときには、電源をオンにするためにセキュリティコードを入力する必要があります。

### 1 セキュリティコードを入力します

入力する桁を選択するには



入力する数字を選択するには



「セキュリティコードの設定」(p46) で設定したセキュリティコードを入力します。

### 2 決定します



電源がオンになります。

▶ APPROVED

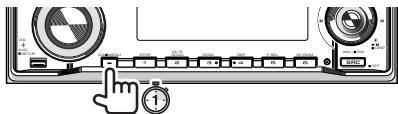


- 入力したセキュリティコードがまちがっていると電源がオフになります。このようなときは、[SRC] ボタンを2回押して電源をオンにしてから再度セキュリティコードを入力してください。

## 時刻合わせ

本機の時計を合わせます。

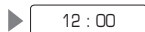
### 1 メニューモードにします



### 2 時刻合わせの項目を選択します



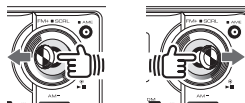
### 3 時刻合わせを開始します



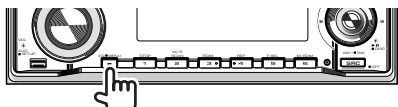
### 4 “時”を調整します



### 5 “分”を調整します



### 6 時刻合わせを終了します

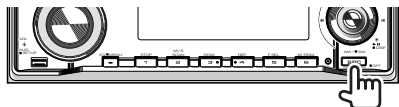


- 時刻合わせは、STANDBY中に行えます。基本的なメニューモードの操作方法は「メニュー設定」(p44)をご覧ください。
- “分”を調整したときには、時刻合わせ終了時に00秒からスタートします。

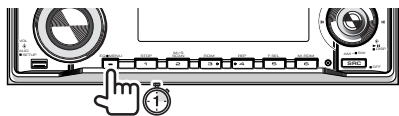
## AUXネームセレクト

AUXソースに切り替えたときの表示を設定します。

### 1 AUXソースにします



### 2 メニューモードにします



### 3 ネームセットの項目を選択します



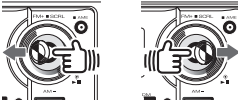
### 4 ネームセットを開始します



現在設定中のAUXネームが表示されるまで押します。



### 5 AUXネームを選択します



左右に動かすたびに、次の順で切り替わります。

表示

AUX/ AUX EXT

DVD

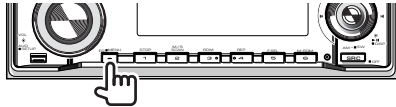
PORTABLE

GAME

VIDEO

TV

### 6 ネームセットを終了します

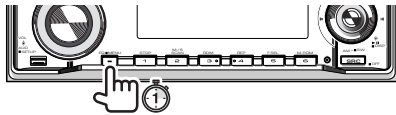


- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- CA-C1AX/CA-C2AXを使用したAUX入力には「AUXネームセレクト」は設定できません。

## LXアンプコントロール

接続されている別売品のLXアンプを、本機からコントロールします。

### 1 メニューモードにします



MENU

### 2 アンプコントロールの項目を選択します



AMP CTRL

### 3 アンプコントロールを開始します

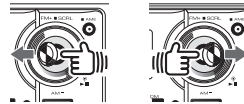


設定項目が表示されるまで押します。

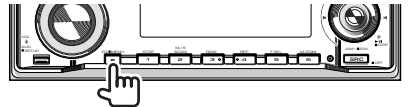
### 4 設定するアンプコントロール項目を選択します



### 5 アンプコントロール項目を設定します



### 6 アンプコントロールを終了します

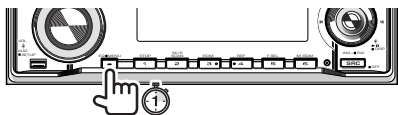


- アンプコントロール項目の詳細については、LXアンプの取扱説明書をご覧ください。
- LXアンプコントロールは、LXアンプが本機に接続されているときのみ設定できます。

## デモンストレーション設定

本機の機能をデモンストレーションします。

### 1 メニューモードにします



### 2 デモンストレーションの項目を選択します



### 3 デモンストレーション機能を設定します



2秒以上押すたびに、デモンストレーション機能がオン/オフします。



- この設定はスタンバイ中に行えます。基本的なメニューモードの操作方法は「メニュー設定」(p44)をご覧ください。

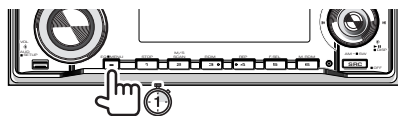
## オーディオプリセット

リセットボタンが押された場合でも、消えないオーディオの設定をメモリーします。

### 1 メモリーするオーディオコントロール設定をします

「オーディオコントロールの詳細設定」(p38)および「オーディオセットアップ」(p39)を参照してください。

### 2 メニューモードにします



### 3 オーディオプリセットの項目を選択します



### 4 オーディオプリセットモードにします



### 5 メモリーを表示します



### 6 オーディオコントロール設定をメモリーします



## 7 オーディオプリセットモードを終了します



- ソース別にはメモリーできません。メモリーできるオーディオコントロール設定は1組だけです。
- メモリーできるのは「オーディオコントロールの詳細設定」および「オーディオセットアップ」の設定項目です。ただし、「R-VOL」、「BAL」、「FAD」、「AVOUT」、「2ZON」の設定値はメモリーされません。

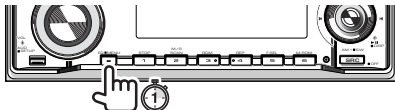
## オーディオプリセットの呼び出し

オーディオプリセットメモリーでメモリーした設定を呼び出します。

### 1 ソースを切り替えます



### 2 メニューモードにします。



### 3 オーディオプリセットの項目を選択します



## 4 オーディオプリセットモードにします



## 5 オーディオコントロール設定を呼び出します



## 6 オーディオプリセットモードを終了します



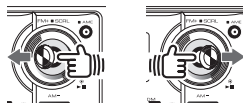
- オーディオプリセットを呼び出すと、設定していた「オーディオコントロールの詳細設定」および「オーディオセットアップ」の設定値がメモリーしていた値に置き換わります。

# TV Control

別売品のLX-BUS対応のTVチューナー搭載モデルを接続しているときは、本機からTVのコントロールをすることができます。

## チャンネル選択

受信するTVチャンネルを選びます。



動作は接続している別売品のTVモニターの設定によって異なります

詳しくは、TVモニターの取扱説明書を参照してください。

## バンド/ビデオ切り替え

TV放送バンドとビデオ入力を切り替えます。



動かすたびに、TVバンドとビデオ入力切り替わります。

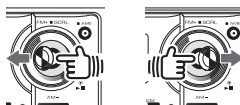
## マニュアルメモリー

受信中のTVチャンネルをメモリーします。

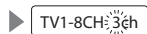
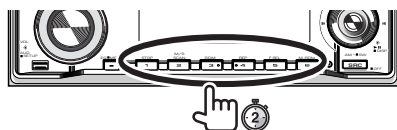
### 1 バンドを選びます



### 2 放送局を選びます



### 3 メモリーするボタン（1～6のいずれか）を選びます



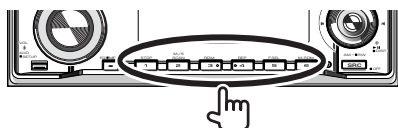
## プリセットチューニング

TVのプリセットチャンネルにメモリーされているチャンネルを選びます。

### 1 バンドを選びます



### 2 呼び出すプリセットボタン（1～6のいずれか）を選びます



- 選択したプリセットナンバーが表示され、メモリーされているチャンネルが呼び出されます。

## 音声多重切り替え

音声多重放送のメイン音声とサブ音声を切り替えます。



動かすたびに、メイン音声とサブ音声に切り替わります。

# Remote Controller

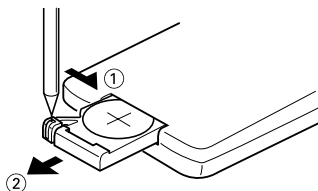
本機を付属のリモコンで操作することができます。



- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
- 電池を炎の中に入れてたり、高温による場所に置かないでください。破裂することがあります。
- 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

## 電池の入れかた

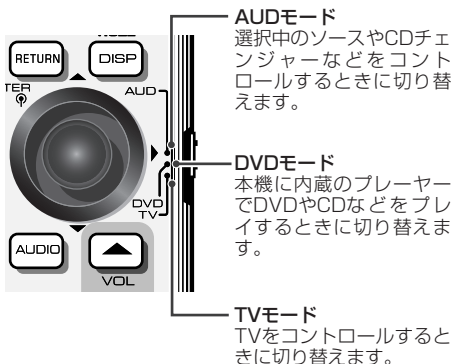
ペン先などで①の方向にロックを外しながら②の方向へ電池ボックスを引き出します。付属のリチウム電池（CR2025）を電池ボックスの表示にしたがって＋と－を間違えないように入れてください。



- 操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、リチウム電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、新しいリチウム電池と交換してください。

## リモコンモードスイッチの切り替えかた

モードスイッチの位置によってリモコンで操作できる機能が変わります。



- リモコンモードスイッチの切り替え位置は、モード別のタイトル部に「(AUDモード)」などと表記されています。
- 内蔵ではないプレーヤーなどをコントロールする場合は、「AUD」モードにしてください。
- TVモードに設定しているときは、接続しているケンウッド製モニター（別売品）にリモコンを向けて操作してください。ただし、接続しているTVモニターにより使える機能が制限されることがあります。

## 共通操作 (AUDモード)

### ソース切り替え

プレイするソースを切り替えます。



### 音量調整

音量を調整します。



### アッテネーター

ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押しすと、元の音量に戻ります。



### オーディオコントロール

音質などを調整します。

1 調整する項目を選びます。



2 調整します。



- 調整できる項目については、「オーディオコントロールの詳細設定」(p38)をご覧ください。なお、「BAS F」などの詳細設定の項目は調整できません。

### Menu設定

メニュー設定をします。

1 メニューモードにします。



2 項目を選びます。



3 項目を調整します。



- 調整できる項目についてはp44をご覧ください。

### デュアルゾーン

デュアルゾーン機能をオン/オフします。



### リア音量調整

デュアルゾーン機能オン時のリアの音量を調整します。



## DVD/VCD/CD/オーディオファイル (DVDモード)

### フォルダサーチ

プレイするフォルダを選択します。



### トラックサーチ/ファイルサーチ

プレイする曲/ファイルを選択します。



### プレイ/ポーズ

プレイを一時停止します。

もう一度押すと、プレイを再開します。



### ストップ

プレイしていた位置を記憶して停止します。もう一度押すと、プレイしていた位置は消去されます。



### ダイレクトサーチ



このキーを押すたびに、ダイレクトサーチできる項目が切り替わります。

#### DVD

タイトルナンバー

チャプターナンバー

プレイタイム

項目ナンバー\*

解除

\*ディスクやシーンによっては、使用できないときがあります。

#### CD

トラックナンバー

プレイタイム


解除

#### オーディオファイル

フォルダナンバー

ファイルナンバー

解除

ダイレクトサーチする項目に切り替えたら、サーチする番号をテンキーで指定し、 [ENTER]キーを押します。

### テンキー



- ダイレクトサーチ時に、サーチしたい番号を指定します。



## ラジオ (AUDモード)

### バンド切り替え

受信するバンドを切り替えます。



### 選局

受信する放送局を切り替えます。



### ダイレクトチューニング

このキーに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。



例：76.1MHz (FM) の場合 (3桁)



例：522kHz (AM) の場合 (4桁)



### テンキー



- メモリーされている放送局の番号を押すと、プリセットチューニングできます。(1) ~ (R))
- ダイレクトチューニングキーを押した後、受信する放送局の周波数を指定します。

## TV (AUDモード)

### バンド/ビデオ切り替え

受信するTVバンドの放送局とビデオ入力を切り替えます。



### 音声多重切り替え

メイン音声/サブ音声を切り替えます。



### チャンネル選択

受信するチャンネルを選択します。



### ダイレクトチューニング



このキーを押してから、受信する放送局をテンキーで指定します。

例：6チャンネルの場合 (2桁)



### テンキー



- メモリーされている放送局の番号を選択します。(1) ~ (R))
- ダイレクトチューニングキーを押した後、受信する放送局のチャンネルを指定します。

## オーディオファイル

本機は、オーディオファイル(MP3/WMA)をプレイできます。プレイできるフォーマットやメディアなどには以下の制限があります。なお、記載されている文字数は、いずれも1バイト文字換算時の値です。

### プレイできるオーディオファイル

- MP3
- WMA



- コピープロテクト（著作権保護）されたファイルはプレイできません。
- エンコードソフトの設定や環境によっては再生や表示ができない場合があります。
- 圧縮フォーマットがバージョンアップされたファイルや、仕様が追加されたファイルは再生できない場合があります。

### プレイできるMP3フォーマット

本機でプレイできるMP3ファイルは、MPEG1 Audio Layer 3、MPEG 2 Audio LSF Layer 3規格のものです。

- サンプリング周波数：32, 44.1, 48 (kHz)
- ビットレート：32～320 (kbps)

### プレイできるWMAフォーマット

本機でプレイできるWMAファイルは以下のフォーマットのものです。

- Windows Media™ Audio 準拠
- サンプリング周波数：32, 44.1, 48 (kHz)
- ビットレート：48～192 (kbps)

Windows Media™ Player 9以上の一部の機能を使用すると正常にプレイできない場合があります。

詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。

URL： [http://www.kenwood.com/j/products/car\\_audio/q\\_and\\_a.html](http://www.kenwood.com/j/products/car_audio/q_and_a.html)

## 使用できるメディア

- CD-R/RW/ROM
- DVD±R/RW

CD-RWの簡易フォーマットで作成されたメディアはプレイできません。

### 使用できるCD-R/RWのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

- ISO 9660 Level 1
- ISO 9660 Level 2
- Joliet
- Romeo

なお、ファイル名/フォルダ名は128文字まで表示が可能です。(区切り文字"."と拡張子3文字を含みます) 使用できる文字はライティングソフトの説明書および下記「ファイル名とフォルダ名」を参照してください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数：255
- 最大フォルダ数：254

前記のフォーマット以外で書き込まれたオーディオファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

### 圧縮ソフトとライティングソフトの設定

オーディオファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は"128kbps"の"固定"を推奨します。何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、"Disc at Once"の設定をしてください。

音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権所有者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

## ファイル名とフォルダ名

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、ライティングソフトやディスクのフォーマットによっても表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。オーディオファイルには、それぞれ“.MP3”または“.WMA”、の拡張子を付けてください。これらの拡張子が付いていないファイルはプレイできません。



### 禁止

- オーディオファイル以外のファイルに上記の拡張子を付けないでください。これらの拡張子を付けると、本機がオーディオファイルと誤認識してプレイしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。

## オーディオファイルの曲情報表示

本機で表示できる曲情報は、曲名、アーティスト名およびアルバム名です。また、表示できる文字種は英数文字です。

- MP3 ID3 Tagは、v1.0/1.1/2.3規格で記録された曲情報を30文字まで表示します。
- WMAコンテンツプロパティは30文字まで表示します。

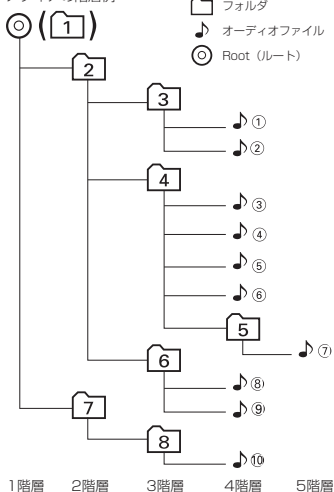
## オーディオファイルをプレイする順番

プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、プレイされると予想していた順番と実際にプレイされる順番が一致しないことがあります。

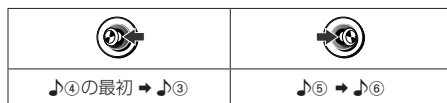
PCの使用環境にもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してからCD-R/RWなどに書き込むことでプレイする順番を設定できることがあります。

下記のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。

メディアの階層例



### ♪④再生中にファイルサーチを行うと...



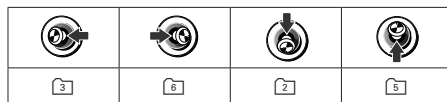
### ♪④再生中にフォルダサーチを行うと...



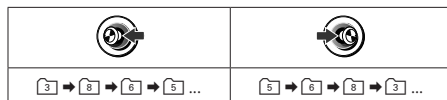
### ♪④再生中にファイルセレクトを行うと...



### ♪④再生中にフォルダセレクト1を行うと...



### ♪④再生中にフォルダセレクト2を行うと...



## ビデオファイル

本機ではMPEGビデオファイルをプレイできます。プレイできるフォーマットやメディアなどには以下の制限があります。

### プレイできるビデオファイル

- フォーマット：MPEG1、MPEG2
- ピクチャサイズ
  - MPEG1：320X240、352X240
  - MPEG2：640X480、704X480
- 音声フォーマット：MPEG Audio Layer 2
- 音声サンプリング周波数：32、44.1、48 kHz
- 音声ビットレート：32～384kbps（固定ビットレート（CBR）のみ）

### 使用できるメディア

- DVD±R/RW

### 拡張子

ビデオファイルには、以下のいずれかの拡張子が付いている必要があります。

mpg、mpeg、mpe、m1v、m2v

ディスクのフォーマットやファイル名/フォルダ名、プレイする順番についてはオーディオファイルと同様です。「オーディオファイル」(p58)をご覧ください。

## ピクチャファイル

本機ではJPEGファイルをプレイできます。プレイできるフォーマットやメディアなどには以下の制限があります。

### プレイできるピクチャファイル

- フォーマット：JPEG
- Baseline format: 5120(W)X3840(H) pixel まで
- Progressive format: 2048(W)X1536(H) pixel まで



- 上記サイズまでの画像を、画面のサイズに合わせて拡大/縮小します。
- 付属情報（Exifなど）が記録されたピクチャファイルは、正常に表示、動作（回転表示など）されない場合があります。

### 拡張子

ピクチャファイルには、以下のいずれかの拡張子が付いている必要があります。

jpg、jpeg、jpe、jff

使用できるメディアや、ディスクのフォーマット、ファイル名/フォルダ名、プレイする順番についてはオーディオファイルと同様です。「オーディオファイル」(p58)をご覧ください。

## 共通

### ? 電源がオンにならない

- ✓ ヒューズが切れている。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。

---

- ✓ 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- 「接続」(p74)を参照して正しく接続し直してください。

---

- ✓ セキュリティコードが設定されている。
- 設定したセキュリティコードを入力してください(p46)。

### ? 音が出ない/音が小さい

- ✓ フェダー、バランスが片方に寄っている。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。

---

- ✓ メニュー設定の“AMP”項目が“OFF”になっている。
- 「メニュー設定」(p44)を見て、“AMP”項目を“ON”に設定してください。

---

- ✓ 入出力ケーブルなどの接続が間違っている。
- 「接続」(p74)を参照して正しく接続し直してください。

### ? 操作スイッチを押しても動作しない

- ✓ 操作スイッチを押しても動作しない。
- リセットボタンを押してください(p8)。

### ? 音質が悪い(音がひずむ)

- ✓ 音量が大きすぎる。
- 音量を適正に調整してください。

---

- ✓ スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線を確認してください。

---

- ✓ スピーカーの配線が間違っている。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

### ? “2ZON”が表示されない

- ✓ “SWPRE”項目が“AV”に設定されている。
- 「メニュー設定」(p44)を参照して、“SWPRE”項目を“R”/“SW”に設定してください。

### ? チューナーの感度が悪い

- ✓ 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナを十分に伸ばしてください。

---

- ✓ アンテナコントロール電源が接続されていない。
- 「接続」(p74)を参照して正しく接続し直してください。

---

- ✓ アンテナ入力がきちんと接続されていない。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

### ? SRCキーを押しても、望むソースに切り替わらない

- ✓ それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(p74)を見て正しく接続してください。

---

- ✓ 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- リセットボタンを押してください(p8)。

---

- ✓ 別売品ユニットの“O-N”スイッチを“O”側にしている。
- “O-N”スイッチは“N”側に設定してください。

---

- ✓ 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。
- 対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。

### ? スクロール中にディスプレイが消える

- ✓ 「メニュー設定」の“DISP”項目を“OFF”に設定している。
- 「メニュー設定」(p44)を参照して、“DISP”項目を“ON”に設定してください。

### ? “LPF”、“PHAS”、“SW L”が表示されない

- ✓ サブウーファー出力がオフになっている。
- 「サブウーファー出力コントロール」(p40)を参照して、サブウーファー出力をオンに設定してください。

---

- ✓ デュアルゾーン機能がオンに設定されている。
- 「オーディオセットアップ」(p39)を参照して、デュアルゾーン機能をオフに設定してください。

---

- ✓ “SWPRE”項目が“R”/“AV”に設定されている。
- 「メニュー設定」(p44)を参照して、“SWPRE”項目を“SW”に設定してください。

## ディスクプレイ

### ? SRCキーを押してもディスクがプレイできない

- ✓ ディスクが入っていない。
- プレイするディスクを入れてください。

### ? ディスクが入らない

- ✓ すでにディスクが入っている。
- 入っているディスクを取り出してから入れてください。

### ? ディスクが取り出せない

- ✓ 使用期間が切れているディスクが入っている。
- 電源をオフにしてから15秒後にイジェクトキーを押してください。

- ✓ ディスクが排出の途中で止まっている。
- ディスクが完全に排出されるまでイジェクトキーを押し続けてください。

- ✓ 車両のACCスイッチをオフしてから10分以上経過したため。

- ACCスイッチをオフしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンしてからイジェクトキーを押してください。

### ? ディスクのプレイ中に振動で音が切れる

- ✓ 取り付け角度が30°を超えている。
- 30°以下になるように取り付け直ししてください。

- ✓ 取り付けが不安定になっている。
- しっかりと取り付け直ししてください。なお、駐車中でも音飛びする場合は、曲の同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

### ? 選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

- ✓ ランダムプレイがオンになっている。
- ランダムプレイをオフにしてください(p31)。

### ? 同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

- ✓ トラックリピートがオンになっている。
- トラックリピートをオフにしてください(p30)。

### ? ディスクをプレイできない

- ✓ ディスクが裏返しになっている。
- レーベル面を上にして入れ直してください。

- ✓ ディスクが異常に汚れている。
- 「メディアの取り扱い」(p11)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

- ✓ 結露している。
- しばらく放置してから使用してください(p10)。

- ✓ ディスクが内部的に検出されていない。
- リセットボタンを押してディスクを取り出しから、再度ディスクを挿入してください(p8)。

### ? 曲の先頭しかプレイされない

- ✓ スキャンプレイがオンになっている。
- スキャンプレイをオフにしてください(p30)。

### ? ディスクチェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

- ✓ ディスクリピートプレイがオンになっている。
- ディスクリピートプレイをオフにしてください(p30)。

### ? 曲が順にプレイされない

- ✓ ランダムプレイがオンになっている。
- ランダムプレイをオフにしてください(p31)。

### ? ディスクが順に演奏されない

- ✓ マガジンランダムプレイがオンになっている。
- マガジンランダムプレイをオフにしてください(p31)。

### ? STANDBYにするとCDやオーディオファイルがディスクの先頭へ戻る

- ✓ メニュー設定の“CD READ”項目を変更した。
- “CD READ”項目の設定を行うと1曲目の演奏に戻ります。

### ? CD-R、CD-RWがプレイできない

- ✓ ファイナライズ処理を行っていない。
- CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。

- ✓ CD-R/CD-RWに未対応のCDチェンジャーでプレイしている。
- CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーではプレイできません。

**? リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない**

- ✓ ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。
- ➡ 各機能をキーでオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

**? ダイレクトディスクサーチができない**

- ✓ ディスクが1枚しか入っていない。
- ➡ マガジンにディスクを2枚以上挿入してください。

**? マガジンランダムプレイができない**

- ✓ ディスクが1枚しか入っていない。
- ➡ マガジンにディスクを2枚以上挿入してください。

**? トラックサーチできない**

- ✓ ディスクチェンジャー内でディスクをプレイ中に最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。
- ➡ ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

**? CDテキストが表示されない**

- ✓ 使用しているディスクチェンジャーが1997年以前に発売のディスクチェンジャーで“O-N”スイッチがない。
- ➡ 1998年以降に発売のディスクチェンジャーを使用してください。
- ✓ 使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。
- ➡ ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

**? 音声言語/字幕言語/アングルが切り替わらない、設定した言語にならない**

- ✓ 複数の言語やアングルが収録されていない。
- ➡ メニューで切り替えられる場合もあります。ディスクの取扱説明書をご覧ください。

**? VCDのメニュー(PBC)が表示されない**

- ✓ VCDにPBC(プレイバックコントロール)が収録されていない。
- ➡ ディスクの取扱説明書をご覧ください。

## オーディオファイル

**? オーディオファイルがプレイできない**

- ✓ オーディオファイルが本機で再生できる記録方式で記録されていない。
- ➡ 「オーディオファイル」(p58)を見て、本機で再生できる方式で記録しなおしてください。

- ✓ オーディオファイルに拡張子が付いてない。
- ➡ MP3ファイルには“.MP3”、WMAファイルには“.WMA”を付けてください。

- ✓ メニュー設定の“CD READ”項目を“2”に設定している。
- ➡ 「メニュー設定」(p44)を見て、“CD READ”項目を“1”に設定してください。

- ✓ ディスクに傷や汚れがある。
- ➡ 「メディアの取り扱い」(p11)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

**? オーディオファイルをプレイ中に音飛びする**

- ✓ ディスクに傷や汚れがある。
- ➡ 「メディアの取り扱い」(p11)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

**? オーディオファイルのディスクをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる**

- ✓ オーディオファイル以外のファイルに“.MP3”/“.WMA”拡張子が付いている。
- ➡ オーディオファイル以外のファイルに付いている“.MP3”/“.WMA”拡張子を消去してください。

**? フォルダ名前/ファイル名前が正しく表示されない**

- ✓ ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。
- ➡ ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo(p58)に準拠したディスクを使用してください。

- ✓ ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。
- ➡ ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。

**? 演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない**

- ✓ オーディオファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。
- ➡ —

**?** オーディオファイルのディスクをプレイするまで時間がかかる

- ✓ ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。
- 最初にメディア内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

**?** オーディオファイルが順番どおりにプレイされない

- ✓ プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。
- ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などを入力してから書き込むことで順番を設定できる場合があります。

**?** MP3 ID3 Tag情報が正しく表示されない

- ✓ MP3 ID3 tagがv1.0/1.1/2.3に準拠して記録されていない。
- MP3 ID3 tagをv1.0/1.1/2.3に準拠して記録してください。

**?** CD-RWに記録したオーディオファイルがプレイされない

- ✓ CD-RWのフォーマットを簡易フォーマットで行ったため。
- CD-RWをフォーマットするときは、フルフォーマットで行ってください。

**Menu**

**?** セキュリティコード項目が表示されない

- ✓ 「メニュー設定」の“DEMO”項目が“ON”に設定されている。
- 「デモンストラレーション設定」(p50)を参照して、“DEMO”項目を“OFF”に設定してください。

- ✓ すでにセキュリティコードを設定してある。
- セキュリティコードを一度設定すると“CODE SET”は“CODE CLR”に変わります。

**?** ディスプレイの明るさが変わらない

- ✓ 車両のライトスイッチがオフになっている。
- 車両のライトスイッチをオンにしてください。
- ✓ イルミネーションコードが接続されていない。
- 「接続」(p74)を参照して、正しく接続してください。

**?** 内蔵AUXを“OFF”に設定してもAUXソースに切り替わる

- ✓ 別売品のKCA-S220AのAUXスイッチがONになっている。
- KCA-S220Aに付属の取扱説明書を見てAUXスイッチをOFFにしてください。

**?** セキュリティコードを忘れた

- ✓ セキュリティコードを調べることはできません。
- ケンウッドサービスセンターにご相談ください。



## 共通

### MP3 (エムピースリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? オーディオファイル」(p58)をご覧ください。

### WMA (Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。

使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? オーディオファイル」(p58)をご覧ください。

### ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー(KDC-C520、KDC-C510、KDC-C406など)やマルチメディアプレーヤー(VD-C77)です。

## オーディオコントロール

### R-VOL (リア音量)

デュアルゾーン機能使用時の、リア側の音量を調整します。

### SW L (サブウーファー音量)

サブウーファーの音量を調整します。

### BAS F/MID F/TRE (バスフリケンシ / ミドルフリケンシ / トレブルフリケンシ)

低音、中音、高音を調節する周波数(中心周波数)を、設定できます。

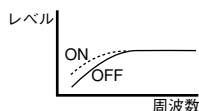
### BAS Q/MID Q (クオリティファクタ)

低音、中音の調節スロープを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスロープの傾斜が大きくなります。



### B EX (バスエクステンデッド)

ONに設定すると、低音中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。



### HPF/HPR (ハイパスフィルター)

設定された周波数(カットオフ周波数)よりも低い成分をカットします。

プリアウトをサブウーファーように使用するとき、この機能を使って、出力から低域成分をカットして高域のみの音にします。"THRU"に設定すると、この機能をオフにできます。

本機では、ハイパスフィルターをフロントスピーカー(HPF)とリアスピーカー(HPR)に独立して設定できます。

### LPF (ローパスフィルター)

設定された周波数(カットオフ周波数)よりも高い成分をカットします。

プリアウトをサブウーファーように使用するとき、この機能を使って、出力から高域成分をカットして低域のみの音にします。"THRU"に設定すると、この機能をオフにできます。

## PHAS (サブウーファーフェイス)

サブウーファースの位相 (正相/逆相) を設定します。

## V-OFF (ボリュームオフセット)

各ソースごとの音量の差を調整します。

これにより、ソースを切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。

## N-VOL (ナビボリューム)

カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の音量を設定できます。

## AVOUT (エーブイアウト)

AV OUT端子から出力される音声信号レベルを設定できます。

## 2ZON (デュアルゾーン)

デュアルゾーン機能とは、メインソースとサブソースをフロントスピーカーとリアスピーカーに振り分けて出力する機能です。

OFF：デュアルゾーン機能をオフにします。

DVD：サブソースをDVDに設定します。

AUX：サブソースを内蔵AUXに設定します。

- サブソースの出力先は、「メニュー設定」(p44)の“ZONE2”で設定します。
- メインソースは「ソースを切り替えます」(p13)で設定します。
- フロントの音量はVOLで調節します。
- リアの音量は「オーディオコントロールの詳細設定」(p38)の“R-VOL”またはリモコンの“R.VOL”(p55)で調節します。

## Menu

### AMP (内蔵アンプ出力)

内蔵アンプの出力をオン/オフします。

フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“OFF”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。

内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクオリティをアップさせることができます。

### AMP CTRL

LXコードで接続した別売品のパワーアンプの各種設定を行うことができます。

また、電圧/消費電流/内部温度/電動ファン回転数などパワーアンプの各種情報も表示されるため、パワーアンプがどのような状態で動作しているのか瞬時に確認することができます。

コントロールできる項目の詳細についてはLXアンプの取扱説明書をご覧ください。

### AUTO1/AUTO2/MANUAL

放送局の探し方を設定することができます。

AUTO1：放送局を自動的に見つけ出します。

AUTO2：メモリーされている放送局を順番に受信します。

MANUAL：1ステップずつ周波数が変わります。

### AUX (内部 AUX 入力)

AUX端子は、ビデオ/ナビなどの外部機器の音声の本機に入力する端子です。

この機能は、内部AUX端子への音声入力をオン/オフします。

この機能をオンにすると、AUX端子から入力された音声は、AUXソースに切り替えることにより、本機で聴くことができます。

また、デュアルゾーン機能を使って、他のソースと同時に出力することもできます。

使用しないときはオフにしておいてください。

### BEEP (ビーブ)

キーを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押し続けたままにしていると“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

なお、ビーブ音はプリアウトからは出力されません。

## BMS

EXT.CONT.コードで接続した別売品のB.M.S機能搭載パワーアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。

変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプの取扱説明書をご覧ください。

B.M.S機能搭載アンプについては、カタログをご覧ください。

## BMS F

“BMS” で設定した低音増幅の中心周波数を調整する機能です。

“LOW” に設定すると、周波数が20～30%低くなります。

## CD READ (CD リード)

CDの読み込み方法を設定します。

特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に“2”を設定すると強制的にCDをプレイすることができる機能です。なお、“2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、“2”に設定するとオーディオファイルやピクチャファイルのプレイはできなくなります。通常は“1”でお使いください。

1：ディスクのプレイ時にオーディオファイル/ピクチャファイルのディスクと音楽CDを自動的に識別します。

2：音楽CDとして強制的にプレイします。

## CODE SET/CODE CLR(セキュリティコードセット/セキュリティコードクリア)

セキュリティコードを設定/解除します。

セキュリティコードを設定しておく、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

## DIM(ディマー)

車両のライトスイッチに連動して、ディスプレイの明るさが自動的に切り替わります。

## DISP

“OFF”に設定すると、本機の操作を5秒間行わないときに、ディスプレイを消すことができます。これにより、車両ウィンドウへのディスプレイの写り込みを防ぐことができます。

ただし、各設定モード中などは5秒経過しても、ディスプレイは消えません。

消えているときは、何かのボタンを押すことにより、ディスプレイが表示されます。

なお、ディスプレイが消えているときは、電源のオン・オフ、音量調整、ソース選択、ディスクの取り出し以外の操作はできません。

## DSI (ディセーブルシステムインジケータ)

セキュリティインジケータをオン/オフします。

この機能をオンにしておくと、パネルを外したときに、**[▲]** (イジェクト) ボタンのLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

## KEY (キーイルミ)

ボタンのイルミネーション色をグリーンとレッドから選択できます。

## SCL (スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、グループタイトル、フォルダネーム、ファイルネーム、曲名/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“AUTO”に設定しておく、スクロール表示を繰り返し行い、“MANU”に設定しておく、と表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようになります。

## SWPRE (スイッチャブルプリアウト)

プリアウト端子から出力する音声を設定する機能です。

R：リア音声が出力されます。リア音声を別売品のパワーアンプから出力する場合などに設定します。

SW：サブウーファー用音声が出力されます。

AV：オーディオコントロールなどの影響を受けない音声が出力されます。リアモニターに接続する場合などに設定します。

### MONO (モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

### M/V (マクロビジョンバージョン)

DVDに使用されている著作権保護技術のバージョンを表示します。

### GUID(ナビガイド)

カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定することができます。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。

ATT: ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。

INT: ナビ音声ガイドをフロントスピーカーから出力します。

この機能を“INT”に設定して、ナビ音声ガイドの割り込みをする場合は、「接続」(p74)を参照して、AUX入力にナビゲーションシステムを接続してください。また、“INT”に設定していても、スタンバイ中にはナビ音声は割り込みません。さらにナビ音声は割り込んだときには、ガイド以外の音声は割り込む場合があります。

ケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続してこの機能を使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオン、または「オーディオ接続設定」機能を設定してください。

さらに、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。

なお、この機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

### ZONE2 (ゾーン2)

デュアルゾーン機能がオンのときのサブソース (内蔵AUX入力またはDVD) の出力先 (フロントスピーカーまたはリアスピーカー) を設定します。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

## TOC ERR/ READ ERR :

- ディスクが異常に汚れています。
- ディスクに傷が多く付いています。
- ディスクが裏返しになっています。
- ディスクチェンジャーにトレイが入っていません。
- ディスクチェンジャーにディスクが入っていません。

## E-05 :

ディスクが裏返しです。

## E-15 :

プレイしようとしたディスクには、本機でプレイできるファイルが収録されていません。

## EJECT :

- ディスクマガジンがセットされていません。
  - ディスクマガジンが完全に入っていません。
  - 本機にディスクが入っていません。
- など

## NO DISC :

ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていません。

## NA FILE :

サポートされていないフォーマットのオーディオファイルをプレイしようとした。

## COPY PRO :

プレイしようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。

## REG ERR :

本機ではプレイできないリージョン番号のディスクをプレイしようとした。

## PAR ERR :

設定されている視聴制限より高いディスクをプレイしようとした。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

## PRK OFF :

走行中に映像が表示されるソースにした。

- ➔ 映像は車両を止めてパーキングブレーキがかけられているときに表示されます。

## CODE ---- :

セキュリティコードの入力要求です。

## E-07 ~ 67/ E-77:

何らかの原因で正常に動作していない。

- ➔ 本機のリセットボタンを押してください。"E-07" ~ "E-67" / "E-77" の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

## HOT ERR :

本機内部温度が60℃以上になると保護回路が動き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。

- ➔ 車内の温度を下げてから使用してください。

## HOLD :

ディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。

- ➔ ディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。


## インジケーターが点滅 :

ディスクプレーヤーが正常に動作していない。

- ➔ ディスクを取り出してから、ディスクを入れなおしてください。

## E-09/ E-19/ E-99 :

何らかの原因で正常に動作していない。

- ➔  (イジェクト) ボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

---

### LOAD (点滅) :

ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。

---

### READING (点滅) :

ディスクに収録されているデータのチェック中です。

---

### PROTECT (点滅) :

スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシーに接触したために、保護回路が働きました。

➔ スピーカーコードを適切に配線/絶縁しなおしてから、リセットボタンを押してください。

---

### DEMO MODE :

本機の機能をディスプレイに表示するデモンストラーションモード中です。解除するにはデモンストラーションモードをオフ (p50) にしてください。

# DVD言語コード

コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語
aa	アファル語	ga	アイルランド語	lv	ラトビア語、レト語	sq	アルバニア語
ab	アブハジア語	gd	スコットランドゲール語	mg	マダガスカル語	sr	セルビア語
ae	アヴェスタ語	gl	ガルシア語	mh	マーシャル語	ss	シスワティ語
af	アフリカーンス語	gn	グアラニ語	mi	マオリ語	st	セストゥ語
ak	アカン語	gu	グジャラート語	mk	マケドニア語	su	スンダ語
am	アムハラ語	gv	マン島語	ml	マラヤーラム語	sv	スウェーデン語
an	アラゴン語	ha	ハウサ語	mn	モンゴル語	sw	スワヒリ語
ar	アラビア語	he	ヘブライ語	mo	モルダビア語	ta	タミール語
as	アッサム語	hi	ヒンディー語	mr	マラータ語	te	テルグ語
av	アヴァル語	ho	ヒリ・モツ語	ms	マレー語	tg	タジク語
ay	アイマラ語	hr	クロアチア語	mt	マルタ語	th	タイ語
az	アゼルバイジャン語	ht	ハイチ語	my	ミャンマー語	ti	ティグリニヤ語
ba	バシキール語	hu	ハンガリー語	na	ナウル語	tk	トゥルクメン語
be	ベラルーシ語	hy	アルメニア語	nb	ブークモール語	tl	タガログ語
bg	ブルガリア語	hz	ヘレロ語	nd	北ンデベレ語	tn	セツワナ語
bh	ビハーリー語	ia	国際語	ne	ネパール語	to	トンガ語
bi	ビスラマ語	id	インドネシア語	ng	ンドンガ語	tr	トルコ語
bm	バンバラ語	ie	国際語	nl	オランダ語	ts	ツォンガ語
bn	ベンガル語、 バングラ語	ig	イボ語	nn	ニューノルスク語	tt	タタール語
bo	チベット語	ii	四川語	no	ノルウェー語	tw	トウィ語
br	ブルトン語	ik	イヌピアック語	nr	南ンデベレ語	ty	タヒチ語
bs	ボスニア語	io	イド語	nv	ナヴァホ語	ug	ウイグル語
ca	カタロニア語	is	アイスランド語	ny	ニャンジャ語	uk	ウクライナ語
ce	チェチェン語	it	イタリア語	oc	プロバンス語	ur	ウルドゥー語
ch	チャモロ語	iu	イヌイット語	oj	オジブワ語	uz	ウズベク語
co	コルシカ語	ja	日本語	om	(アファン)オロモ語	ve	ベンダ語
cr	クリー語	jv	ジャワ語	or	オリヤー語	vi	ベトナム語
cs	チェコ語	ka	グルジア語	os	オセト語	vo	ボラピュク語
cu	教会スラブ語	kg	コンゴ語	pa	パンジャブ語	wa	ワロン語
cv	チュヴァッシュ語	ki	キクユ語	pi	パーリ語	wo	ウォロフ語
c्य	ウェールズ語	kj	クワンヤマ語	pl	ポーランド語	xh	コーサ語
da	デンマーク語	kk	カザフ語	ps	パシュトー語	yi	イディッシュ語
de	ドイツ語	kl	グリーンランド語	pt	ポルトガル語	yo	ヨルバ語
dv	ディベヒ語	km	カンボジア語	qu	ケチュア語	za	チワン語
dz	ブータン語	kn	カナダ語	rm	ラエティ=ロマン語	zh	中国語
ee	エウエ語	ko	韓国語	rn	キルンディ語	zu	ズール語
el	ギリシャ語	kr	カヌリ語	ro	ルーマニア語		
en	英語	ks	カシミール語	ru	ロシア語		
eo	エスペラント語	ku	クルド語	rw	キニヤルワンダ語		
es	スペイン語	kv	コミ語	sa	サンスクリット語		
et	エストニア語	kw	コーンウォール語	sc	サルディニア語		
eu	バスク語	ky	キルギス語	sd	シンド語		
fa	ペルシャ語	la	ラテン語	se	北サミ語		
ff	フラ語	lb	ルクセンブルク語	sg	サンゴ語		
fi	フィンランド語	lg	ガンダ語	si	シンハラ語		
fj	フィジー語	li	リグリア語	sk	スロバキア語		
fo	フェロー語	ln	リンガラ語	sl	スロベニア語		
fr	フランス語	lo	ラオス語	sm	サモア語		
fy	フリジア語	lt	リトアニア語	sn	ショナ語		
		lu	ルバ語	so	ソマリ語		

# 取り付け時のご注意

## 警告



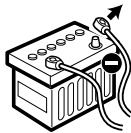
### 禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



### 実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



### 実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



### 禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



### 禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



### 実施

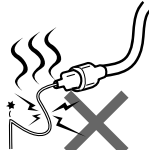
本製品を取り付けるときには、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。

また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



### 禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。







## 禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。



## 実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



## 実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本製品ヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本製品との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



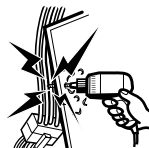
## 実施

電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。



## 注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



## 実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



## 注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



## 実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

# 接続

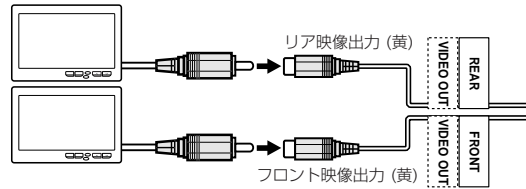


## 実施

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの ⊖ 端子を外してください。

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード (黒)、バッテリー電源コード (黄)、アクセサリ電源コード (赤) の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの ⊖ 端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン (p8) を押します。

テレモニターなど  
(別売品)



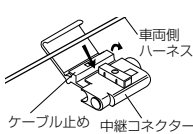
中継コネクター (付属) を使用して車両のパーキング検出コードに接続します。

パーキングセンサー  
中継コード (若草)

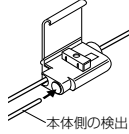
パーキングブレーキ  
検出コード (若草)

PRK SW

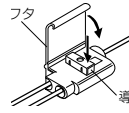
### 中継コネクター (付属) の使いかた



1. 車両側のハーネスを中継コネクターに差し込みます。
2. ケーブル止めをロックします。

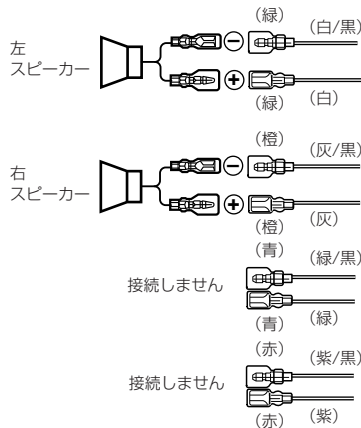


3. 本体側の検出コードを中継コネクターに差し込みます。

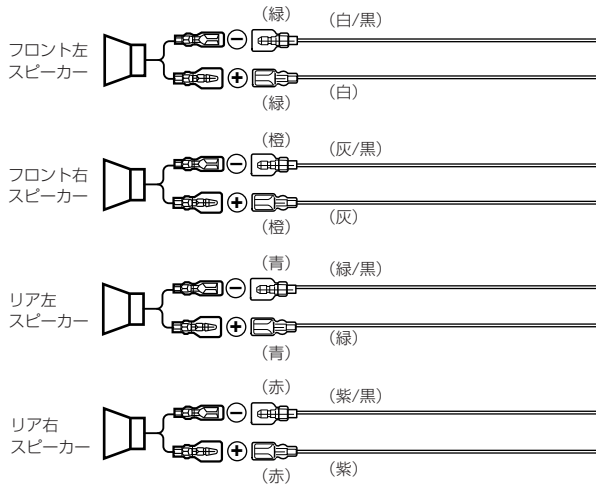


4. プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込みます。
5. フタをロックします。

### 2スピーカー時のスピーカー接続方法



接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処置を行ってください。

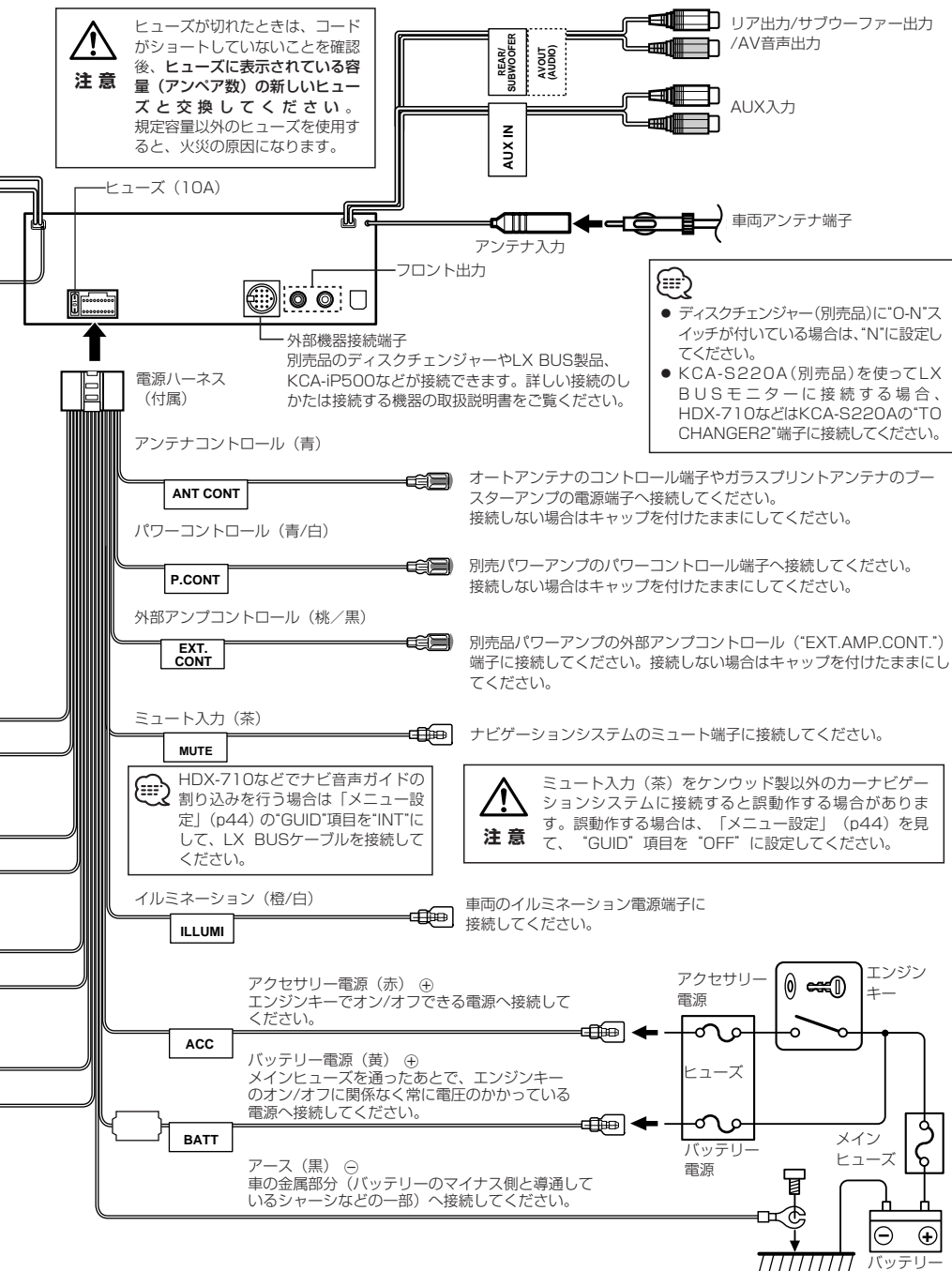


- スピーカーコードの ⊕ ⊖ 端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの ⊖ 端子を共通にして接続しないでください。



### 注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。



- ディスクチェンジャー(別売品)に"O-N"スイッチが付いている場合は、"N"に設定してください。
- KCA-S220A(別売品)を使ってLX BUSモニターに接続する場合、HDX-710などはKCA-S220Aの"TO CHANGER2"端子に接続してください。






### 注意

ミュート入力(茶)をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、「メニュー設定」(p44)を見て、「GUID」項目を「OFF」に設定してください。

# 取り付け

付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ (M5 × 7mm) を 4 本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

付属ネジ	個数
 トラスネジ (M5 × 6 mm)	4
 サラネジ (M5 × 7 mm)	4
 セムスネジ (M4 × 8 mm)	1

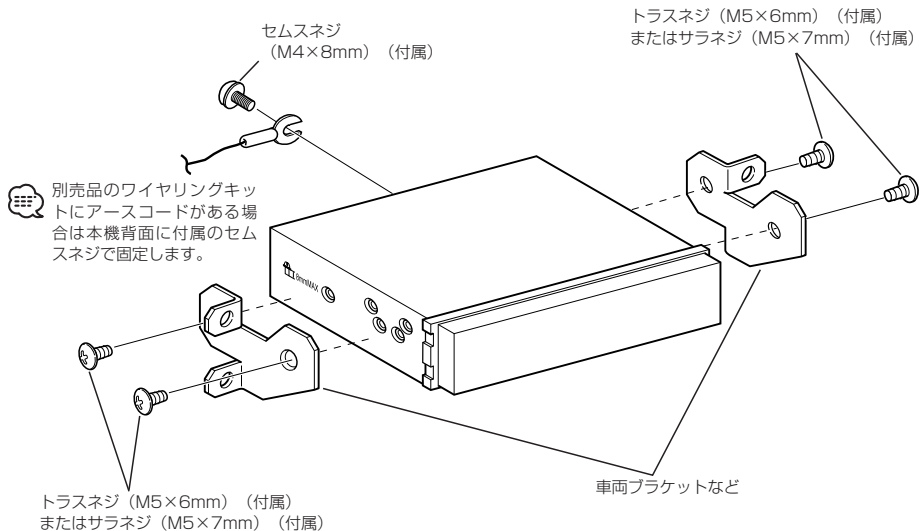
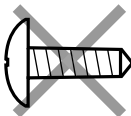
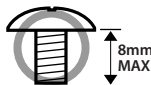


## 注意

取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

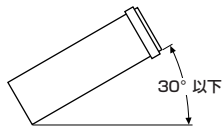
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

なお、取り付けネジはトラスネジまたはサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



## 注意

- 本機の取り付け角度は 30° 以下になるように取り付けてください。30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け / 取り外しをしないでください。破損することがあります。



- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

## 保証について

### ● 保証書

この製品には、保証書を添付しております。  
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### ● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

## 修理を依頼されるときは

「Help? Troubleshooting」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。）

**修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。**

### ● 保証期間中は ...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。  
本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ● 保証期間経過後は ...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。  
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。  
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

### ● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

### ● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- **技術料**：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。  
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- **部品代**：修理に使用した部品代です。  
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

# 仕様一覧

## FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)

: 76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)

実用感度 (S/N : 30 dB)

: 9.3 dBf (0.8  $\mu$ V/75  $\Omega$ )

S/N 50 dB感度

: 15.2 dBf (1.6  $\mu$ V/75  $\Omega$ )

周波数特性 ( $\pm$ 3.0 dB)

: 30 Hz~15 kHz

S/N比

: 70 dB (MONO)

選択度 ( $\pm$ 400 kHz)

: 80 dB以上

ステレオセパレーション

: 40 dB (1 kHz)

## AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)

: 522 kHz~1629 kHz (9 kHz)

感度

: 28 dB $\mu$  (25  $\mu$ V)

## DVDプレーヤー部

D/Aコンバーター

: 24 Bit

デコーダ

: Linear PCM/ Dolby Digital/ dts/ MP3/ WMA

ワウ& フラッター

: 測定限界以下

周波数特性

96kサンプリング時: 20~44,000 Hz

48kサンプリング時: 20~22,000 Hz

44.1kサンプリング時: 20~20,000 Hz

高調波歪率

: 0.008 % (1 kHz)

S/N比

: 100 dB (1 kHz)

ダイナミックレンジ

: 96 dB

サンプリング周波数

: 32 kHz/ 44.1 kHz/ 48 kHz/ 96 kHz

量子化ビット数

: 16/ 20/ 24 bit

MP3デコード

: MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠

WMAデコード

: Windows Media™ Audio 準拠

## オーディオ/ビデオ部

### 最大出力

: 50 W × 4

### 定格出力

: 30 W × 4 (4Ω、1kHz、10%THD以下)

### スピーカーインピーダンス

: 4~8 Ω

### オーディオコントロール

バス : 100 Hz ± 8 dB

ミドル : 1 kHz ± 8 dB

トレブル : 10 kHz ± 8 dB

### プリアウトレベル (CD/CD-CH)

: 2500 mV/10 kΩ

### プリアウトインピーダンス

: 600 Ω以下

### ビデオアウトレベル

: 1 V<sub>p-p</sub> (75Ω)

## AUX入力

### 周波数特性

: 20 Hz~20 kHz ± 1 dB

### 入力最大電圧

: 1200 mV

### 入力インピーダンス

: 100 kΩ

## 電源部

### 電源電圧

: 14.4 V (11~16 V)

### 最大消費電流

: 10 A

## 寸法・質量

### 埋込寸法 (W × H × D)

: 178 × 50 × 160 mm

### 質量 (重さ)

: 1.4 kg

## 付属部品

### 電源ハーネス

: 1本

### パーキングセンサー中継コード

: 1本

### 中継コネクター

: 1個

### トラスネジ (M5 × 6 mm)

: 4本

### サラネジ (M5 × 7 mm)

: 4本

### セムスネジ (M4 × 8 mm)

: 1本

### リモコン

: 1個

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

---

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114 (一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です)  
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133

FAX 045-933-5553

住所 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2

受付時間 9:00～18:00 (土、日、祝祭日および当社休日とは休ませていただきます)

- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。